



第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】

分野 1	自然・環境		
基本方針	美しい風景を育て、豊かな自然と共生する持続可能な社会の構築		
政策 1	良好な自然環境や景観の次代への継承		
関連するSDGs			
主な担当課・担当係	産業観光課農政係・耕地林務係/住民環境課生活環境係/建設水道課維持管理係		
課題と方針	<p>快適な暮らしや産業の発展との調和を図りながら、良好な自然環境と大切なふるさとの景観を次代に継承します。</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再生可能エネルギー設備等の環境や景観との調和</li> <li>森林や農地の荒廃化防止と多面的機能の維持・保全</li> <li>多様化する特定外来生物への対応</li> <li>不法投棄の未然防止</li> </ul>		
行動目標	自分たちの手で大切な里山を守ろう！		
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)
	耕作放棄地率<施策2>	9.4%	8.5%
	住民評価		
	里山・森を守る満足度<施策1>	30.5%	↑
	ふるさとの景観を守る満足度<施策2>	27.6%	↑
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等		
<b>B</b>	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境や景観に配慮した多様な取組が各分野で進んでおり、持続可能な循環型社会の構築に向けた機運の醸成と具体的な取組みが進んでいる。</li> <li>耕作放棄地率は目標値を上回り減少している。</li> </ul>		
<p>A 非常に成果あり (目標を上回った)</p> <p>B 相当程度成果あり (目標の7～8割達成)</p> <p>C 成果あり (目標の5～7割達成)</p> <p>D 成果が少ない (目標の5割未満)</p>	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>景観計画に基づく具体的な取組等の進捗が遅れていることから、景観づくりの推進体制を強化していくことが必要。</li> <li>山間地の道路沿いなどでは、依然として不法投棄が後を絶たず対応に苦慮していることから、不法投棄物の削減に向けて、住民等への啓発や禁止看板の設置、関係機関との連携等の強化が必要。</li> </ul> <p>&lt;方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>継続的な森林整備及びR6年度末に策定予定の「地域計画」に基づく農地の集約化等により、森林及び農地の保全を推進していく。</li> <li>住民や事業者と協働で取り組む景観づくりの体制整備（協定制度の積極活用、景観づくり団体等の育成、景観アドバイザー等の活用等）について計画的に進めていく。</li> <li>不法投棄未然防止の新たな監視強化対策として、デジタル技術を活用した監視体制等の構築や運用等を検討していく。</li> </ul>		

施策1	豊かな自然環境の保全・継承						達成度評価	担当係等
①	将来にわたり生活環境及び自然環境に悪影響を及ぼすおそれのある施設建設等については、迅速に調査を行うとともに、必要に応じて審査・指導を行います。						<b>B</b>	生活環境係
②	生態系を脅かす特定外来生物の把握・移入防止・早期駆除に努めます。						<b>D</b>	生活環境係
③	森林の有する多面的機能が持続的に発揮されるよう、間伐、広葉樹林化等を推進します。						<b>B</b>	耕地林務係
④	松くい虫やナラ枯れなどの被害の拡大を防止し、森林の保護に努めます。						<b>B</b>	耕地林務係
⑤	農薬や化学肥料の使用を抑えた環境にやさしい農業を推進します。						<b>B</b>	農政係
K P I	対応するKPIは住民評価指標のため、次期総合計画策定時に検証・評価							
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町自然環境保全条例に基づく、開発行為許可等に係る調査、審査、指導の実施。</li> <li>・不法投棄物の監視、回収及び不法投棄物の処分の実施、特定外来生物（アレチウリ等）の一部駆除の実施。</li> <li>・森林の里親促進事業提携企業による植樹（700本）、東高原桂山など間伐の実施(約1.2ha)等。</li> <li>・有機農業実習用圃場を設置し栽培技術講習会等を開催、直売所での有機農産物コーナーの設置。</li> <li>・環境保全直接支払事業やフェロモン防除の推進 など</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開発行為等に対する事前協議段階からの調査や指導及び調整等の徹底により、自然環境保全を図っていく。</li> <li>・特定外来生物の生態や駆除方法等について、住民理解を浸透させていくための啓発強化が必要。</li> <li>・継続的な森林整備（植林、間伐など）により、森林保全・景観形成に効果があがっており、今後も森林環境譲与税を活用する中で、計画的に森林整備を進めていく。</li> <li>・農薬や化学肥料の使用を抑えた循環型農業の取組を強化していくとともに、有機農産物の消費を促進させるため、安定生産、有機JASの取得、子どもたちへの有機農業の栽培体験なども含め総合的に取り組んでいく。</li> </ul>							
施策2	ふるさとの景観の保全・育成						達成度評価	担当係等
①	景観条例・景観計画を基に、町民や事業者と協働で良好な景観づくりに努めます。						<b>C</b>	維持管理係
②	耕作放棄地や荒廃農地の発生防止と解消を図り、景観の維持と保全に努めます。						<b>A</b>	農政係
③	監視活動を強化し、ごみの不法投棄の未然防止を図ります。						<b>B</b>	生活環境係
④	河川や用水、ため池などの整備は、自然に最も近い材料や工法を用いて周辺環境の保全に努めます。						<b>D</b>	耕地林務係
K P I	耕作放棄地率（％）						農政係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	9.4	—	—	—	—	<b>8.5</b>	<b>123%</b>	
実績		7.8	6.9					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観条例に基づく規制により景観保全の強化を図るとともに（届出件数：2、景観審議会開催回数：1）、景観計画に基づき景観重要眺望路線を設定（長野荒瀬原線、北信五岳道路）し、良好な眺望景観づくりに向けた取組に着手。</li> <li>・耕作放棄地全体調査及び利用状況調査の実施、定期的な農地パトロール等を実施するとともに、荒廃農地利活用促進交付金の活用促進等により、荒廃地の発生防止・解消に努めた。</li> <li>・不法投棄物の監視及び回収（週1回/8ヶ月間）の実施、不法投棄監視連絡員等との連携や警察など関係機関との協働による複合的な対処の実施、一斉清掃活動等を通じた不法投棄禁止の啓発の実施。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
<b>C</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観計画における重要眺望点の設定、住民や事業者と協働で取り組む景観づくりの体制整備（協定制度の積極活用、景観づくり団体等の育成、景観アドバイザー等の活用等）等について、計画的に取組を進めていく。</li> <li>・維持保全すべき農地の明確化と担い手等への農地集積により、耕作放棄地の抑制に一定の効果があがっている。策定予定の「地域計画」（R6年度末）に基づき、農地の集約化・流動化を促進し農地保全を図っていく。</li> <li>・令和5年度は不法投棄件数及び回収量が前年度より大幅に減少した。不法投棄の監視と回収は、不法投棄の抑止効果に一定の成果が見られることから、今後も継続的に実施していく。また、新たな監視強化対策としてデジタル技術を活用した監視体制等の構築や運用等を検討していく。</li> </ul>							


第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】

分野1	自然・環境			
基本方針	美しい風景を育て、豊かな自然と共生する持続可能な社会の構築			
政策2	自然の恵みの享受と環境への負担軽減			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	産業観光課農政係・耕地林務係/住民環境課生活環境係/企画課企画係/教育委員会子ども保育係・子育て支援係/建設水道課			
課題と方針	<p>豊かな自然環境の価値・機能や資源の魅力を最大限に活かしながら、環境負荷の少ない持続可能なまちづくりを進めます。</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学びや体験の場としての自然環境の魅力発信と活用の機会や場づくり</li> <li>・ 地域に潜在する多様な再生可能エネルギーの活用</li> <li>・ 脱炭素社会や循環型経済など持続可能な社会構築に対する意識啓発</li> </ul>			
行動目標	町の自然をめいっぱい楽しもう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	林業体験参加者数<施策1>	22	200	
	自然体験プログラム数<施策1>	13	100	
	民間保育施設を含む信州型自然保育認定園数<施策1>	4	4	
	森林整備・木材活用・自然体験等提供を行う団体<施策1>	0	1	
	町の事務・事業におけるCO <sup>2</sup> 排出量<施策2>	4,391t	4,078t	
	1人1日当たり可燃ごみ排出量<施策2>	488g	396g	
	住民評価	自然に親しむことができる機会を増やす満足度<施策1>	27.8%	↑
		省資源・資源循環の推進満足度<施策2>	28.1%	↑
		家庭ごみの分別の徹底や減量化、リサイクルなどに取り組んでいる<施策2>	92.8%	↑
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
C	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定し、ゼロカーボンの達成に向けた取り組みを開始。</li> <li>・ 芋川用水への小水力発電、公共施設のオンサイトPPAの導入検討など、再生エネルギー活用に向けた取組が着実に進んでいる。</li> <li>・ CO<sup>2</sup>排出量や可燃ごみ排出量などは、既に目標値を上回り順調に取組が進んでいる。</li> </ul>			
	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 再生エネルギー活用や脱炭素社会の推進は専門性が極めて高いあため、実効性のある施策を着実に進めて行くための専門人材の確保と体制づくりが課題。</li> <li>・ 自然体験等のプログラムを体系的に整備するとともに、プログラム等を企画運営していく体制づくりと提供していく人材や事業体等の確保と育成。</li> </ul> <p>&lt;方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和5年度に策定した「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」に基づき、再生エネルギーの活用や省エネルギー機器の普及促進施策等の取り組みを推進し、2050年のゼロカーボンの達成を目指していく。</li> <li>・ 引き続きごみの減量化や分別意識の向上を図っていくとともに、剪定枝、食物残渣等の有機性資源の有効活用（バイオ炭、バイオマスエネルギー等）を図り、循環型モデルの構築を進めていく。</li> </ul>			
A 順調 (目標以上に進捗)				
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)				
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)				
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)				

施策1	自然と親しめる場や機会の創出						達成度評価	担当係等
①	森林や里山の自然とふれあう機会を創出し、森に対する親しみと理解を深めます。						A	耕地林務係
②	町の自然を親子で体感・体験できるプログラムを創出します。						D	地域振興係/子育て支援係
③	自然の親しみ方や関わり方を伝えるインストラクターを養成します。						D	地域振興係/耕地林務係
④	町内の森林整備を促進し、森林環境や町内産木材を活用したプログラムを創出します。						D	耕地林務係
⑤	自然に親しめる公園（町民の森）の整備など、憩いの場づくりを進めます。						C	耕地林務係
⑥	自然に親しめる公園の整備を、地域と一緒に手づくりで進めます。						C	建設係
K P I ①	林業体験参加者数（人）						耕地林務係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	22	—	—	—	—	200	147%	
実績		210	293					
K P I ②	自然体験プログラム数（プログラム）						地域振興係/子育て支援係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	13	—	—	—	—	100	23%	
実績		21	23					
K P I ③	民間保育施設を含む信州型自然保育認定園数（園）						子ども保育係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	4	—	—	—	—	4	100%	
実績		4	4					
K P I ④	森林整備・木材活用・自然体験等提供を行う団体数（団体）						耕地林務係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	0	—	—	—	—	1	0%	
実績		0	0					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林の里親促進事業による植樹や下草刈りの実施（参加者：293名）、小学校「緑の少年団」活動推進など。</li> <li>・自然体験（ロゲイニング、イカダづくり、スノーシュー等）プログラムの実施（8回：参加者128名）。</li> <li>・農村体験、自然体験プログラムの企画及び運営（13メニュー：参加者510名）。</li> <li>・牟礼駅前自然公園の隣接森林の整備を実施し、景観の向上を促進。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各分野で自然体験等の場や機会はあるものの、現状は「プログラム」として体系的に整備されていないため、どのように体系を整備し運営していくかが課題となっている。</li> <li>・自然と親しむ場や機会を創出していく人材の確保や、プログラム等を運営していく推進母体・団体等の設立が課題となっていることから、人材育成と民間事業者等との連携を更に強化していくことが必要。</li> </ul>							

施策2	脱炭素・省資源・省エネルギー・資源循環の推進						達成度評価	担当係等
①	LED照明やペレットストーブ※などの省エネルギー機器の普及促進を図ります。						<b>B</b>	生活環境係/耕地林務係
②	環境に配慮しながら、太陽光発電、地中熱、小水力発電等の再生可能エネルギーの活用やクリーンエネルギー自動車※の導入など、脱炭素に寄与する取組を積極的に進めます。						<b>B</b>	生活環境係/企画係
③	りんごの剪定枝、間伐材などのバイオマス資源の利活用を研究します。						<b>B</b>	農政係/企画係
④	ごみの分別を徹底し、ごみの減量、再利用、再資源化を促進します。						<b>A</b>	生活環境係
⑤	ごみの減量やリサイクルなどの環境学習を推進し、町民の環境への理解・関心を深めます。						<b>C</b>	生活環境係
⑥	公共施設に電気自動車充電設備の設置を計画的に進めます。						<b>B</b>	企画係/生活環境係
K P I ①	町の事務・事業におけるCO2排出量 (t)						生活環境係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	4,391	—	—	—	—	<b>4,078</b>	<b>124%</b>	
実績		4,070	3,296					
K P I ②	1人1日当たり可燃ごみ排出量 (g)						生活環境係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	488	—	—	—	—	<b>396</b>	<b>112%</b>	
実績		368	353					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定（R6年3月）。</li> <li>・住宅用太陽光発電設備設置に対する補助交付（14件）。</li> <li>・クリーンエネルギー導入（芋川用水への小水力発電、公共施設のオンサイトPPA、公用車のEV化等）の推進。</li> <li>・民間事業者との連携によるEV充電設備の設置（天狗の館・いづなコネクトWESTへ普通充電器を設置）。</li> <li>・剪定枝活用による薪ストーブ利用者とのマッチングの実施（提供者：4名/薪利用者：4名）。</li> <li>・年2回の町内一斉清掃活動の実施、広報紙等を通じてゴミの分別やリサイクル等の啓発、環境レポートの作成と公表等。</li> <li>・生ごみ処理機器、容器等に対する補助の実施、リユースを目的とした古着回収の実施など。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年3月に策定した「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」に基づき、再生エネルギーの活用や省エネルギー機器の普及促進施策等の取り組みを推進し、2050年のゼロカーボンの達成を目指していく。</li> <li>・地球温暖化防止対策の取組は、進捗状況の的確な管理や進捗に応じた事業立案・調整など、専門性が極めて高く、実効性のある施策を着実に進めて行くためには、専門的な人員と体制が不足しているため、体制整備をどう進めていくかが課題。</li> <li>・可燃ごみ収集量は減少傾向にあり、令和5年度は前年度比5.84%の減となった。引き続き「可燃ごみの減量」と「3R（スリーアール）」について、町民への理解の浸透と実践を進めるため、啓発等を積極的に行うほか、地区衛生組合や各種団体等と連携し、講習会や出前講座などを開催するなど、ごみの減量化や分別意識の向上を図っていく。</li> <li>・環境教育に関する施策や取組み、推進方法等について検討し行動計画としてまとめることで、各機関連携のもとに事業推進していく体制を整備していく。</li> <li>・選定枝の薪ストーブ活用の取組が定着してきたが、今後は食物残渣や枯れ枝等の有機性資源の有効活用の取組（バイオ炭、堆肥化、バイオマスエネルギー等）についても検討を進め、資源の循環型モデルの構築を図っていく。</li> </ul>							


第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】

分野2	学び		
基本方針	ふるさと環境を活かした人材育成と一人ひとりの豊かな人生の創造		
政策1	安全・安心で「生きる力」を育む教育環境づくり		
関連するSDGs			
主な担当課・担当係	教育委員会総務教育係・学校給食係		
課題と方針	<p>多様化・グローバル化が進む社会のなかで、ふるさとに誇りをもって豊かな人生を歩める力を育む教育環境をつくります。</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の資源（自然・歴史・文化・産業）を活かして幼少期から学べる機会の充実</li> <li>・多様な個性や能力、価値観を理解・尊重できる環境づくり</li> <li>・確かな学力を身に付けられる安全・安心な教育環境の確保</li> </ul>		
行動目標	ふるさとを愛し、人を思いやる心を育てよう！		
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)
	中学校の英検受験率<施策1>	34.8%	50.0%
	ネットワーク環境整備学校数<施策1>	3校	3校
	平成27年度からの奨学資金の貸付人数（累計）<施策2>	21人	30人
	学校給食における地元農産物の使用率 米<施策2>	100%	100%
	じゃがいも<施策2>	15.1%	35.0%
	玉ねぎ<施策2>	21.6%	35.0%
	住民評価	町ならではの教育環境づくり満足度<施策1>	36.7%
	誰もが安心して教育を受けられる環境の整備満足度<施策2>	35.0%	↑
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等		
B	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル教材を活用した、特徴のあるデジタル教育の取組が進むとともに、個々に応じた多様な学びの環境づくりが進捗。</li> <li>・ふるさと学習による体験学習や地域学習を中心に、「ふるさとを学び、ふるさとに学ぶ」教育の機会を設け、地域への愛着と生きる力を育む教育の促進。</li> </ul>		
	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒数の減少に対応した学校づくり</li> <li>・学校と地域のが力を合わせて学校運営を進めていくための人材確保と支援体制の強化。</li> <li>・飯綱町らしい教育システムや教育環境の確立。</li> </ul>		
A 順調 (目標以上に進捗)	<p>&lt;方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済状況等による格差の拡大や不登校問題をはじめ、子どもたちや保護者を取り巻く環境が複雑化する中で、様々な側面において「安心して学べる」環境の確保と支援を引き続き進めていく。</li> <li>・多様性を尊重し、共に学び合える環境づくりを強化するとともに、子どもたち一人ひとりのニーズに即した教育をデザインすることで、「多様な学び」を実践できる体制や仕組みづくりを進めていく。</li> </ul>		
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)			
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)			
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)			

施策1	飯綱町ならではの教育環境の構築						達成度評価	担当係等
①	集団による多様な活動の場を確保するなど、児童・生徒数の減少に対応した学校づくりを推進します。						D	総務教育係
②	町独自に教員を確保し、きめ細かな学習指導を行うなど、児童・生徒一人ひとりの個性と能力を伸ばす教育を推進します。						B	総務教育係
③	地域の自然や歴史、文化、産業を学ぶ機会や資料を提供し、ふるさとを愛する心が育つ環境を推進します。						B	総務教育係
④	豊富な知識、経験、特技を持った地域住民と学校を結びつけ、地域ボランティアが体験学習等の支援をするシステム（飯綱町コミュニティスクール）を構築し、飯綱町ならではの地域密着型の教育を推進します。						B	総務教育係
⑤	ICT（情報通信技術）を活用した教科学習を積極的に進め、子どもたちが個に応じた学習に意欲的に取り組める環境づくりを推進します。						B	総務教育係
⑥	小中学校に英語の専門教員やALT（外国語指導助手）を独自に配置するなど、グローバル化に対応した教育を推進します。						B	総務教育係
⑦	学童期の学びは、そこに至る乳幼児期に育まれた遊びを通した学びが土台となっていることから、園・小接続カリキュラムの作成を進め、幼児期の学びや育ちを小学校教育につなげるよう連携を図ります。						C	総務教育係
⑧	スクールバス等の通学手段や通学路の安全を確保し、子どもたちが安心して通学できる体制を整備します。						B	総務教育係
⑨	多様な学びの機会を確保し、子どもたちの学びを保障します。						C	総務教育係
K P I ①	中学校の英検受験率（％）						総務教育係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	34.8	—	—	—	—	50.0	60%	
実績		28.1	29.8					
K P I ②	ネットワーク環境整備学校数（校）						総務教育係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	3	—	—	—	—	3	100%	
実績		3	3					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町費講師の配置によるきめ細やかな教育環境の整備（牟礼小：8名、三水小：8名、飯綱中：4名）。</li> <li>・各小中学校で、それぞれ地域人材を講師に迎え、地域を知り学ぶ学習を実施。</li> <li>・コミュニティスクールを核に、学校と地域の連携強化（「おらほの応援団」事業など）。</li> <li>・タブレット端末を活用した学習や活動（プログラミングやデジタル学習）の日常化、民間人材を活用したICT教員の配置など、デジタル教育の取組の強化。</li> <li>・小学校に英語専科を配置するとともに、学級担任とALTによる授業カリキュラム作りを進めるなど、英語教育環境の充実化を推進。</li> <li>・保小中連携による一貫した学びの支援体制の強化、放課後登校や家庭学習などへの支援による学びの保障。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校において、特徴あるデジタル教育（飯綱町デジタル教育プログラム）の取組が進み、各教科の授業内容をより深く理解できる学習や、プログラミングの論理的思考を養うなどの環境整備が向上した。今後は、更にプログラミング等を学べる「デジタルスクール」や「デジタルキャンプ」等の事業を実施していく予定。</li> <li>・町費による加配措置により、個に応じた細やかな支援ができ、児童生徒のより良い学びと育ちに寄与。</li> <li>・コミュニティスクールの取組を強化していくため、地域の皆さんなど学校を支えていく人材の確保を進めていく必要がある。</li> <li>・保小接続カリキュラムの作成や子どもの育ちを中心に置いた町独自の一貫した連携システム等の構築を引き続き進めていくとともに、個々に応じた多様な学びの機会の確保を強化していく。</li> <li>・児童生徒の減少が進むなか、少人数化に対応した学校づくりと環境整備について、検討を介していく必要がある。</li> </ul>							

施策2	誰もが安心して教育を受けられる環境の整備						達成度評価	担当係等
①	町の全ての人が家庭の経済状況等にかかわらず、安心して学ぶことができる機会を確保します。						B	総務教育係
②	いじめの早期発見・早期対応を図るなど、いじめや不登校等の問題を抱える子どもたちへの支援を充実させます。						B	総務教育係
③	子どもの発達段階に応じてきめ細かな教育が施されるよう、全ての5歳児と保護者を対象とした臨床心理士等による相談体制を充実させ、必要に応じて子どもの生活支援等につなげます。						B	総務教育係
④	食物アレルギーを持つ児童・生徒には、アレルギーの原因となる食材を使用しないなど、全ての児童・生徒が安心して食べられる学校給食を提供します。						B	学校給食係
⑤	地産地消推進のため、町内直売所等の協力を得て町の農産物を積極的に用い、手づくりのおいしい給食の提供に努めます。						B	学校給食係
K P I ①	平成27年度からの奨学資金の貸付人数（累計）（人）						総務教育係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	21	—	—	—	—	30	110%	
実績		27	33					
K P I ①	学校給食における地元農産物の使用率（％） 米						学校給食係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	100	—	—	—	—	100	100%	
実績		100	100					
K P I ②	学校給食における地元農産物の使用率（％） じゃがいも						学校給食係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	15.1	—	—	—	—	35.0	60%	
実績		23.7	21.0					
K P I ③	学校給食における地元農産物の使用率（％） 玉ねぎ						学校給食係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	21.6	—	—	—	—	35.0	117%	
実績		29.7	40.9					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奨学資金貸付事業、要保護等児童生徒就学援助費の給付、教材費補助、英語検定料補助等の実施。</li> <li>・町独自にソーシャルワーカーを配置し、いじめや不登校等の対応と支援を実施（年間202.75時間を各校に派遣）。</li> <li>・5歳児相談事業により、就学に向けた適切な対応と支援を実施。</li> <li>・生産者や関係者等で組織する「学校給食会議」を設置し、地元農産物・有機農産物の学校給食への使用拡大に向けた仕組みづくりと食材供給体制づくりを推進。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済状況により、学ぶ機会に格差や損失を生じさせないよう、引き続き適切な支援策を講じていく。</li> <li>・5歳児の発達の観察や記録保存等により、保育園と学校間の情報共有が図れ、発達状況に応じた適切な支援を進めることができている。引き続き、きめ細やかな相談及び支援体制を充実させていく。</li> <li>・子どもたちの育ちと学びについては、家庭環境による影響があるため、児童生徒への直接支援だけでなく、家庭に対する支援を関係機関と連携して進めていく必要がある。</li> <li>・学校給食食材の年間使用量の情報提供や納品受入体制の見直しなど、生産者が計画的に生産・納入しやすい体制を整えることで、町内産食材の学校給食使用率を高めていくとともに、オーガニック給食の推進を図っていく。</li> </ul>							

第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】


分野2	学び			
基本方針	ふるさと環境を活かした人材育成と一人ひとりの豊かな人生の創造			
政策2	スポーツ活動の推進・文化芸術の創造と継承			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	教育委員会生涯学習係／産業観光課農政係・商工観光係／企画課地域振興係・企画係			
課題と方針	<p>スポーツや文化芸術の価値を共有して、より多くの町民がこれらの活動に親しみ、関われる環境や体制づくりを推進します。</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツや文化芸術との多様な関わり方（する・みる・ささえる）への対応</li> <li>・既存施設の活用や地域資源を保全する活動支援</li> <li>・各種スポーツの指導者や伝統文化の継承者の育成</li> </ul>			
行動目標	健康な心と体を育てよう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	スポーツ団体参加者数<施策1>	932人	1,100人	
	スポーツ少年団リーダーの養成者数(累計)<施策1>	69人	70人	
	地域密着型プロスポーツ応援観戦者数<施策1>	0人	180人	
	歴史ふれあい館の入館者数<施策2>	2,422人	3,000人	
	アップルミュージアム入館者数<施策2>	8,399人	13,000人	
	文化財等を活用したイベント開催数<施策2>	3回	5回	
	住民評価	多様な活動機会の創出満足度<施策1>	34.5%	↑
		文化の保存・継承満足度<施策2>	30.9%	↑
		地域の行事や集まりに積極的に参加している(地域の会合、お祭りなど)	59.7%	↑
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
<b>B</b>	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いいづなコネクトWEST等を拠点に、スポーツに触れ親しむ機会やスポーツを通じた交流の場が増加。</li> <li>・歴史ふれあい館やアップルミュージアムでの多様な企画展等により、町民の文化芸術等に触れる機</li> </ul>			
A 順調 (目標以上に進捗)	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ活動の推進や文化芸術の創造、継承を図るための、指導者や後継者等の人材の確保と育成。</li> </ul>			
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツや文化芸術への気軽に触れる機会を増やし、興味関心を高めていくための環境整備。</li> </ul>			
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)	<p>&lt;方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もがスポーツや文化芸術等を気軽に楽しめる環境づくりに向け、既存の事業内等を柔軟に見直していくとともに、スポーツや文化芸術に関心を持ち、活動に参加しやすい体制づくりを引き続き進めていく。</li> </ul>			
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの指導者や伝統文化の継承者の確保育成に向け、周辺市町村との連携や民間事業者の活用等を進めていく。</li> </ul>			

施策1	誰もがスポーツに親しめる環境整備						達成度評価	担当係等
①	町民運動会、球技大会、元旦ジョギング大会等の町民参加型スポーツイベントの充実や新たな企画など、より多くの人々がスポーツ活動に参加し親しめる機会を創出します。						B	生涯学習係
②	スポーツ関連団体等が企画運営するスポーツ推進活動やイベントを支援します。						B	生涯学習係
③	いづなコネクトWEST等の施設を活用して、町内外者のスポーツ交流を創出します。						B	地域振興係
④	地域・団体等が企画運営する地域資源を活かした活動を支援します。						D	生涯学習係/企画係
⑤	各種スポーツ団体の選手の育成や指導者の養成・確保などを支援します。						B	生涯学習係
⑥	地域密着型プロスポーツの応援観戦を支援し、子どもから大人まで広くスポーツ観戦の機会を創出します。						B	企画係
K P I ①	スポーツ団体参加者数（人）						生涯学習係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	932	—	—	—	—	1,100	92%	
実績		997	1,013					
K P I ②	スポーツ少年団リーダーの養成者数（人：累計）						生涯学習係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	69	—	—	—	—	70	101%	
実績		70	71					
K P I ③	地域密着型プロスポーツ応援観戦者数（人）						企画係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	0	—	—	—	—	180	57%	
実績		100	103					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民球技大会、オープンゲートボール大会、元旦ジョギング大会、小学生駅伝競走大会など、各種スポーツ教室等の実施。</li> <li>・いづなコネクトWESTを活用したスポーツプログラム等の提供やサッカー交流事業等の実施。</li> <li>・スポーツ少年団、スポーツ協会、スポーツクラブ等を通じた選手及び指導者の育成。</li> <li>・長野パルセイロ及び信州ブレイブウォリアーズのホームタウンゲーム各1試合で町民応援バスツアーを実施。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化等により、分館単位でのスポーツ活動等への参加が難しく、地域の負担も大きいため、各種大会の開催時間を短縮し参加しやすい環境とした。参加者からは参加のハードルが下がったと好評だったことから、今後も町民がより参加しやすいスポーツイベント等の実施に向け、運営の在り方等について状況に応じ柔軟に対応していく。</li> <li>・いづなコネクトWESTを拠点に、多様なスポーツプログラムや交流事業が展開されており、特にサッカー等の宿泊利用が増加している。引き続き指定管理者や入居事業者等と連携しながら、多様なスポーツ交流事業を展開していく。</li> <li>・スポーツをする機会の確保や選手及び指導者の育成が大きな課題となっているため、周辺市町村との連携や民間事業者等の活用も視野に、具体的な施策を検討していく。</li> </ul>							

施策2	伝統文化の保存・継承						達成度評価	担当係等
①	食育活動を通じて町の豊かな農産物や食文化への理解の促進を図ります。						<b>B</b>	農政係／企画係
②	有形・無形の自然・歴史・文化的資源の保存、継承、活用に努めます。						<b>B</b>	生涯学習係
③	町の伝統や自然、歴史に関する各種講座を開催するなど、ふるさとへの誇りや愛着心の醸成を図るとともに伝統文化等に携わる人材を育成します。						<b>B</b>	生涯学習係
④	自然や伝統文化の発信拠点・学習拠点として、歴史ふれあい館やアップルミュージアムの展示内容の充実やリニューアルによる機能強化を図ります。						<b>B</b>	生涯学習係／商工観光係
K P I ①	歴史ふれあい館の入館者数（人）						生涯学習係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	2,422	—	—	—	—	<b>3,000</b>	<b>107%</b>	
実績		2,651	3,209					
K P I ②	アップルミュージアム入館者数（人）						商工観光係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	8,399	—	—	—	—	<b>13,000</b>	<b>133%</b>	
実績		9,453	17,274					
K P I ③	文化財等を活用したイベント開催数（回）						生涯学習係/地域振興係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	3	—	—	—	—	<b>5</b>	<b>100%</b>	
実績		4	5					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「やたら」が文化庁の100年フードに認定（認定団体：飯綱町・だんごりの会）。</li> <li>・町の食文化や農産物などの伝承を目的に「食の匠」育成講座（全9回：延参加者100名）や食育推進講座（「ほんもののゴマよごしを再現～すり鉢がもたらすおふくろの味～」と題し、ゴマすり体験と箱膳での実食を通して食文化への理解を深めた。参加者33名）の実施。</li> <li>・歴史文化に関わる各種講座の実施。</li> <li>・歴史ふれあい館及びアップルミュージアムでの様々な企画展等の開催（アップルミュージアムの企画展「リト@葉っぱの切り絵展」に9,467人が来場し、アップルミュージアムの年間来場者数は過去最高数となった）。</li> <li>・歴史ふれあい館のリニューアル基本計画の策定及び常設展示の一部改修（地形模型制作）を予定</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育活動の担い手である町内女性グループの高齢化と会員減少が進んでいるため、大切な食文化の継承と食育活動を継続していくための後継者の確保と育成が急務である。</li> <li>・歴史ふれあい館を核とする歴史文化資源の継承と活用を更に図っていくため、施設展示のハード面の再整備（R7年度リニューアルオープン予定）と講座や学習機会等のソフト面における工夫や改善を進めていく。</li> <li>・アップルミュージアムは過去最高の来場者数となった。今後も、魅力のある企画展等の開催により、多くの集客を図っていく。また、施設の老朽化が進んでいるため、施設改修と展示内容及び施設機能等を含めて、計画的にリニューアル構想の検討を進めていく。</li> </ul>							

施策3	創造的な文化芸術活動の支援	達成度評価	担当係等
①	文化芸術団体等が企画運営する文化芸術推進活動やイベントを支援します。	<b>B</b>	生涯学習係
②	文化、芸術に関する各種講座を開催するなど、文化芸術活動の推進と人材の育成を図ります。	<b>B</b>	生涯学習係
K P I	施策3に対応するKPIなし		
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アップルミュージアムを活用し、町民や町内作家等の文化芸術活動の発表の場として展覧会や企画展を開催。</li> <li>・歴史ふれあい館主催の各種講座や、いづな大学及びいづな教室事業を通じた、文化芸術活動の推進と人材育成の実施。</li> </ul>		
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等		
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化協会の会員数は減少傾向にあり、活動の停滞化等も危惧されていることから、会員数減少に対する対応等を検討していく必要がある。</li> <li>・いづな教室では継続受講者も多く、意欲の表れや制作作品の技術的向上が見られ、教室開催に一定の成果がうかがえる一方で、いづな大学及びいづな教室の参加者は減少傾向にあることから、参加者を増やしていくための取組が必要。</li> <li>・町内の様々な施設を活用して、町民や作家等の文化芸術活動の発表の場や機会を設けていくなど、町民が文化・芸術に触れる機会を広げる工夫と拡充を図っていく。</li> <li>・文化芸術に興味関心を持ち、活動を始めてみようとする参加者を増やしていくため、文化芸術活動の推進を牽引していく人材を発掘・養成していくことが課題。</li> </ul>		

第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】

分野2	学び			
基本方針	ふるさと環境を活かした人材育成と一人ひとりの豊かな人生の創造			
政策3	多様な学びの機会の創出と生涯学習の推進			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	教育委員会生涯学習係／保健福祉課福祉係／企画課地域振興係・人口増推進室			
課題と方針	<p>生涯にわたって学べる場や機会を確保し、学びを通じて、地域コミュニティの継承や一人ひとりの豊かな人生の創造につなげます。</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未来のまちづくりを担う人材の育成、学びの場づくり</li> <li>・地域コミュニティ活動の場の確保と既存施設の有効活用</li> <li>・生涯にわたる多様な学びのニーズへの対応、スキルを有する地域人材の活用</li> </ul>			
行動目標	学ぶ楽しさ分かち合い、活動の輪を広げよう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	学習支援活動（いづな大学、いづな教室、まちづくり講座等）の開催数<施策1>	0回	40回	
	子ども向けプログラム開催数<施策1>	5回	10回	
	生きがいづくりにつながるプログラム開催数<施策1>	15回	20回	
	公民館図書室と中学校図書館の蔵書数<施策2>	56,993冊	58,000冊	
	公民館図書室と中学校図書館の図書貸出数<施策2>	19,959冊	21,000冊	
	住民 評価	多様な学習機会の創出満足度<施策1>	32.2%	↑
		生涯学習拠点の充実満足度<施策2>	33.3%	↑
		楽しみながら何かを学ぶ取組をしている（グループ活動、趣味の会等）	33.4%	↑
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
B	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いづなコネクト（WEST・EAST）を中心に、多様な学びや体験の場づくり、コミュニティ創出などの取組が進んでいる。</li> <li>・いづなコネクトやメーラプラザについては利用者数が順調に伸びているとともに、地域活性化拠点として、民間活力を活かした多様な取組が広がっている。</li> </ul>			
	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズに合った多様な学びの場の提供と、学びのニーズに対応できる地域人材の確保育成。</li> <li>・地域コミュニティ活動等の活性化と地域を担っていく人材育成の仕組みづくり。</li> </ul>			
A 順調 (目標以上に進捗)	<p>&lt;方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学ぶ機会の提供や学びを支援する、講師や指導者等の人材が不足しているため、民間事業者との連携強化やスキルバンク等の開設を推進していく。</li> <li>・継続的な人材育成の仕組みづくりを構築するため、教育や体験プログラム等の創出を進めていく。</li> <li>・いづなコネクト（WEST・EAST）やメーラプラザを地域住民に愛される「地域活性化拠点」として確立していくため、利活用の促進にあたり常に新たな視点や試みを取り入れながら、指定管理者、地域住民、民間事業者等と連携した運営体制を強化していく。</li> </ul>			
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)				
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)				
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)				

施策1	多様な学習機会の創出・地域社会との連携						達成度評価	担当係等
①	公民館や図書館等において、社会環境や住民ニーズに応じた魅力ある講座や教室を企画するなど、幅広い年代層の住民が参加できる多様な学習機会の提供に努めます。						B	生涯学習係
②	社会教育団体等の活動を支援するとともに、活動内容等の情報提供を行うなど、誰もが・いつでも・気軽に学べる環境づくりを推進します。						C	生涯学習係
③	経験や知識・能力をもった地域の人材を講師等に活用することにより、地域の支え合いの環境づくりを推進します。						C	福祉係/生涯学習係
④	健康や生きがいづくりに関する講座や世代間の交流の機会を設けるなど、誰もがいきいきと生活できる環境づくりを推進します。						C	地域振興係/福祉係/生涯学習係
⑤	子どもたちに自らの可能性に気付かせる学びの場や、仕事のやりがい等を知り・学べるプログラムの提供を通じて、未来の町を担う人材育成を図ります。						B	地域振興係
K P I ①	学習支援活動（いづな大学、いづな教室、まちづくり講座等）の開催数（回）						生涯学習係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	0	—	—	—	—	40	78%	
実績		32	31					
K P I ②	子ども向けプログラム開催数（回）						地域振興係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	5	—	—	—	—	10	170%	
実績		6	17					
K P I ③	生きがいづくりにつながるプログラム開催数（回）						地域振興係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	15	—	—	—	—	20	60%	
実績		19	12					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いづな大学、いづな教室の実施。</li> <li>・いづなっ子クラブ、いづな教室、読み聞かせボランティア等の講師に地域人材を活用。</li> <li>・健康いきいき教室の実施。</li> <li>・いづなコネクトWESTを拠点とした、ヘルスプログラム（スポーツプログラム、ヨガ教室、健康教室等）の実施。</li> <li>・可能性発見プログラム（小学生向け）、起業体験プログラム（高校生向け）等の人材育成プログラムの実施。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いづな大学やいづな教室などの学びの場への参加者が減少していることから、学びの内容等に対するニーズを把握し、ニーズを踏まえた講座やメニュー提供をしていく必要がある。</li> <li>・いづなコネクト（EAST・WEST）を拠点に、ヘルスプログラム等の実施や新たな学びの場の提供等により、多様な学びのニーズへの対応を進めている。生涯にわたり学び活躍する環境づくりの体制整備を引き続き図っていく。</li> <li>・学ぶ機会の提供や学びを支援する、講師や指導者等の人材が不足しているため、民間事業者との連携強化やスキルバンク等の開設を進めていくことが必要。</li> </ul>							

施策2	生涯学習の環境づくり						達成度評価	担当係等
①	地域のコミュニティや学習の拠点となる地域集会施設の維持や整備を支援します。						<b>B</b>	人口増推進室
②	図書施設の機能やサービスの向上を図るとともに、乳幼児へ絵本等を贈る事業（ファーストブック等）や図書館イベント等を充実させることにより、町民の読書活動を推進します。						<b>B</b>	生涯学習係
③	民間活力を導入するなど、既存施設を地域活性化の拠点として活用を図る施設運営を推進します。						<b>B</b>	地域振興係
K P I ①	公民館図書室と中学校図書館の蔵書数（冊）						生涯学習係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	56,993	—	—	—	—	<b>58,000</b>	<b>106%</b>	
実績		61,316	61,316					
K P I ②	公民館図書室と中学校図書館の図書貸出数（冊）						生涯学習係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	19,959	—	—	—	—	<b>21,000</b>	<b>97%</b>	
実績		20,300	20,417					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集会施設整備事業補助金による地域集会施設の維持、整備への支援の実施。</li> <li>・県との協働事業「デジとしょ信州」（電子図書館サービス）の導入、ファーストブック、セカンドブック、サードブックのプレゼント実施。乳幼児、小学生、中学生への読み聞かせの実施、図書館まつりやおはなし会等の開催、おすすめブックリストの作成と発行、読み聞かせボランティア向けブックトーク研修会の開催など。</li> <li>・「いいづなコネクト」（指定管理者：カンマッセいいづな）、多世代交流拠点「メーラプラザ」（指定管理者：社会福祉協議会）について、民間活力により地域活性化拠点として運営。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集会施設整備事業補助金については、補助率を上げて地域の負担軽減を図っている。今後も地域コミュニティの拠点として適切な施設維持管理と活性化が図れるよう、ハード・ソフトの両面から支援を図っていく。</li> <li>・デジとしょ信州の利用促進を図るため、啓発・広報に力をいれていくとともに、学校等でのデジとしょ信州の利活用について検討していく。また、年齢に合わせた定期的な読み聞かせやイベント等を継続し、読書活動を推進していくとともに、「おすすめブックリスト」を効果的に活用し、幅広い世代に対し読書体験の促進を図っていく。</li> <li>・いいづなコネクトEAST・WEST、メーラプラザの各施設の利用者数はいずれも前年度を上回る利用者数となり、地域の活性化拠点として効果的且つ順調な活用が図られている。令和5年度に、いいづなコネクトEASTの3階をサテライトオフィスとして改修したことから、新たな企業の入居等を促すとともに、イベント等の開催により更なる施設利用者増を推進しながら、引き続き地域住民に愛される「地域拠点」としての運営に努めていく。</li> </ul>							

第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】


分野3	産業・観光			
基本方針	創意工夫による新たな産業・しごとの創出と地域に根差した産業基盤の継承			
政策1	儲かる農業の推進			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	産業観光課農政係・耕地林務係			
課題と方針	<p>農業経営基盤の強化と多様な担い手の確保・育成を図るとともに、農業の価値と魅力を高めることにより、持続可能で競争力のある農業を推進します。</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業従事者の高齢化への対応、新たな担い手の確保・育成</li> <li>・ 鳥獣被害や耕作放棄地の増加、農地の荒廃化への対応</li> <li>・ 農産物のブランド力の更なる強化と持続可能なビジネスモデルの確立</li> </ul>			
行動目標	地元の食材をたくさん食べて、地域の農業をみんなで支えよう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	平成29年度からの新規就農者数（累計）<施策1>	9人	20人	
	認定農業者数<施策1>	108人	120人	
	担い手への農地利用集積延面積<施策1>	287ha	350ha	
	農業所得額<施策2、3>	1.0億円	2.0億円	
	農業収入額<施策2、3>	22.8億円	25.0億円	
	住民 評価	農業経営基盤の維持・強化満足度<施策1>	16.9%	↑
		世界に誇る生産・販売体制づくり満足度<施策2>	28.3%	↑
		農産物のブランド化と販路開拓満足度<施策3>	22.2%	↑
		地元の食材を積極的に食している（家庭菜園、町内直売所利用含む）	76.1%	↑
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
B	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 販売力やブランド力の向上、新商品開発、循環型農業の推進等により、町農産物の高付加価値化が促進。</li> <li>・ 担い手への農地集積、多様な経営支援施策等により、農地の荒廃化防止が図られている。</li> <li>・ 新規就農者の獲得については、親元就農等も含めて一定数を確保できており、集落営農組織等の設立や農業の法人化等の機運も高まっている。</li> </ul>			
	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業従事者の高齢化や労働力不足等による、生産量の減少と生産基盤の衰退。</li> <li>・ 多様な担い手の確保と労働の省力化の取組強化。</li> <li>・ 農業収入、農業所得の安定化に向けた「地域総合商社」機能の確立。</li> </ul>			
A 順調 (目標以上に進捗)	<p>&lt;方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生産力と競争力を高めるための生産基盤整備と担い手等への支援策を強化するとともに、農業労働力と多様な農業の担い手の確保育成に向けて多角的な取組みを展開していく。</li> <li>・ 経済性や効率性重視の農業だけでなく、環境に配慮した循環型・持続可能な農業生産への転換を進めていくことで、農産物の付加価値と農業の価値を高めていく。</li> <li>・ 様々な関係機関との連携により「地域総合商社」機能を構築し、多様な商流の構築と販売力を強化することで、農業者の安定した収入確保と儲かる農業の実現を図っていく。</li> </ul>			
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)				
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)				
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)				

施策1	農業経営基盤の強化・持続可能な経営支援						達成度評価	担当係等
①	新規就農者や認定農業者への支援を充実させるとともに、集落営農の組織化や農業の法人化を促進・支援します。						B	農政係
②	農作業の受託や援農サービスの充実を図るとともに、スマート農業等による機械化・省力化に向けた取組を進めます。						B	農政係
③	農業を支える新たな活力として、兼業・多業農家や農業をより広い領域でビジネス展開する事業者など、多様な農業経営の担い手確保・育成を図り、地域農業の持続的発展を進めます。						B	農政係
④	経営規模の拡大を図る農家に対する農地の利用集積を進めるとともに、農道、用水路、ため池などの農業生産基盤・農業施設の整備を行います。						C	農政係／耕地林務係
⑤	自然災害や価格の低下等、様々なリスクに対応する収入保険等への加入促進支援を拡充するなど、農業経営の安定化に向けた取組を図ります。						A	農政係
⑥	中山間地域に適した作物栽培の奨励・新たな作物導入などにより、耕作放棄地の発生防止と農地の有する多面的機能の保持に努めます。						C	農政係
⑦	鳥獣被害を抑えるため、猟友会の活動や農家による自主防衛策への支援を行うとともに、侵入防止柵や広葉樹の植栽等による緩衝帯の整備を進めます。						B	農政係／耕地林務係
K P I ①	平成29年度からの新規就農者数（累計）（人）						農政係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	9	—	—	—	—	20	65%	
実績		12	13					
K P I ②	認定農業者数（人）						農政係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	108	—	—	—	—	120	93%	
実績		111	112					
K P I ③	担い手への農地利用集積延面積（ha）						農政係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	287	—	—	—	—	350	98%	
実績		327	342					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農者育成総合対策（国庫補助）による資金面の支援及び就農後の伴奏支援（専門化支援チームによる経営サポート）の実施や、町単独の後継者等就農支援事業による補助金の交付等。</li> <li>・認定農業者に対する農業機械等の購入補助、収入保険などへの加入補助、担い手への農地利用集積の促進。</li> <li>・農福連携や関係人口等の活用による、既存援農組織（助っ人クラブ、人材センター）の機能強化。</li> <li>・スマート農業の推進（LPWA通信網等を活用した農業用観測センサーの設置など）。</li> <li>・農業経営支援の仕組（兼業や多業農業者などを含め、多様な農業経営の在り方等を学ぶ場）として、農業塾「いづなアグリチャレンジ」の実施（年間延べ参加者数186名）</li> <li>・用水路改修等の施設整備、緩衝帯整備（横手区）の実施、鳥獣被害防止対策補助金の交付など。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農者や認定農業者は、町の農業の担い手となるキーパーソンであることから、幅広く支援していくとともに、町独自の支援策等の拡充についても検討していく。</li> <li>・集落営農組織や農業法人などの設立・誘致等についても、引き続き積極的に支援していく必要がある。</li> <li>・多くの農家が人手不足であることから、援農機能の強化に向けて、農福連携や関係人口活用など多様な農業労働力確保の方策を進めていくとともに、農業労働の省力化に向けて、ドローン活用や農業ロボット等の最新技術の試験導入等スマート農業の方向性について更に研究を進め、実用可能なものを随時試験実施していく。</li> <li>・R6年度に策定予定の「地域計画」に基づき、担い手への農地集積を促進するとともに、国や県の補助事業を活用する中で、農道や用水路等の改修、圃場の整備や畑地転換など、計画的な生産基盤整備を進めていく。</li> <li>・有害鳥獣対策については、緩衝帯の整備や防護柵の設置など、地域ぐるみで「寄せない対策」を進めるための集落環境整備の実施に対して支援を強化していく。</li> </ul>							

施策2	世界に誇る生産・販売体制の構築						達成度評価	担当係等
①	加工・販売拠点を起点に、六次産業化や「地産地商」によるビジネスモデルを構築するなど、農家の所得向上に向けた取組を加速させるとともに、農産業を軸とする「地域総合商社」機能の体制構築を進めます。						B	農政係
②	競争力のある産地づくりに向けて、生産性・効率性の向上のための基盤整備・体制構築を推進するとともに、ICT（情報通信技術）の活用や農産物の高付加価値化など、多角的な取組を進めます。						B	農政係
③	安全・安心で質の高い農業を実現するため、減農薬栽培や有機資源を活用した地域循環型の農業体系を進めます。						B	農政係
K P I ①	農業所得額（億円）						農政係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	1.0	—	—	—	—	2.0	34%	
実績		0.04	0.67					
K P I ②	農業収入額（億円）						農政係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	22.8	—	—	—	—	25.0	110%	
実績		27.7	27.5					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと振興公社を中核とした「地域商社機能」の構築と「地産地商」によるビジネス構築を進めるため、外部専門家による支援や地域活性化起業人等の活用により、新たな販売方法や販路構築等を推進。</li> <li>・競争力のある産地形成に向け、国の補助事業を活用した大規模基盤整備等の導入計画の具体化の実施。</li> <li>・農産物の高付加価値化を図るため、新加工商品等（りんご残渣活用、果皮蜜の活用、多様な果実コンポート）の開発研究を進めた他、町オリジナルりんご品種（高坂林檎と赤果肉品種との配合）の開発に着手。</li> <li>・フェロモン防除の推進や環境保全型農業長苦節支払制度等により、農薬の抑制と環境に配慮した農業を進めている他、有機野菜栽培を実践する「野菜塾」の開催、有機農産物の学校給食への活用やテスト販売を実施する等、循環型農業への転換に向けた取組の強化を推進。</li> </ul>							
達成度評価	<p><b>B</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現段階で地域商社機能の確立は未達成であり、地域商社としての役割を牽引する事業体と位置付けている、ふるさと振興公社の機能強化や、町内の農業関係法人等との連携強化による、商社機能の確立を進めていく必要がある。</li> <li>・農産物の収量減等もあり農業所得は低調であり、加えて農業者の高齢化・担い手不足等が加速しているため、農業振興の柱として、生産力・競争力を高めるための生産基盤強化施策等を進めていくとともに、多様な農業の担い手の確保・育成に向けた取り組みを強力に進めていく必要がある。</li> <li>・水田の畑地転換や荒廃地再生等により高収益作物への転換を進めることで、生産性・効率性の向上を図っていくとともに、農業者の意向を的確に把握しながら、ICT活用や生産基盤の整備・強化を計画的に進めていく。競争力のある産地づくりに向けては、JAや農業法人、民間企業と連携を密にしていくことで、地域が一体となった生産販売体制を強化していくことが必要である。</li> <li>・経済性や効率性を重視した農業生産だけでなく、環境に配慮した循環型・持続可能な農業生産への転換に向け、町内における有機農産物の生産者と作付面積を増やし、農産物の付加価値を高めていくことで、町の農業振興の発展と環境負荷の軽減による持続可能農業へとつなげていく。</li> </ul>							

施策3	農産物のブランド化と販路開拓	達成度評価	担当係等
①	農畜産物のブランド力・販売競争力を強化するため、こだわりや希少価値による独自のブランド商品開発等を推進するとともに、多様な販売・流通経路の構築による海外・首都圏への販路拡大を進めます。	B	農政係
②	学校給食などへ町内産農畜産物を安定して供給できる仕組みを構築し、地産地消を推進します。	B	農政係
③	町内産農畜産物を用いた特産品の開発・販売など、地域の資源や特性を活かした事業を支援します。	B	農政係
④	農業体験や農家民泊の受入れなど、消費者と生産者の交流機会などを通じ、農産物・農産物の持つ魅力と価値を高めます。	B	農政係
K P I	対応KPIは施策2同様／住民評価指標のため、次期総合計画策定時に検証・評価		
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物のプロモーション活動、イベント等への参加により、町内農産物の認知度とブランド力の強化を推進するとともに、首都圏等での新たな販売流通網（上高地あずさ珈琲店、首都圏等の百貨店、銀座ナガノ等）の構築を促進。</li> <li>・町内産有機農産物を学校給食に取り入れていく体制づくりを進めるため、有機学校給食会議を設置し有機食材の生産と活用の拡大に向けた体制づくりを整備。</li> <li>・地域の農産物資源を用いた加工品の開発に対して経費の一部を補助（特産品開発支援事業補助金：R5実績2件）</li> <li>・県内の大学や県工業技術総合センターとの連携による特産品の開発研究の実施（高坂林檎を使用したりんごジュース、中温高圧処理によるコンポート、果皮蜜によるクラフトビールの商品化等）。</li> <li>・りんごの搾りかすを活用した「りんごレザー（粉末化したりんごの搾りかす原料とする合成皮革）」の開発・製造販売支援など。</li> <li>・農業体験（ワーキングホリデー、農家民泊など）の受入、都市部の人を対象としたりんご栽培を学べる場「りんご学校」の開催など。</li> </ul>		
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等		
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上高地あずさ珈琲店や首都圏の百貨店との商流構築が進んできたことは一つの成果であり、こうした独自の販路を更に構築・拡大していくことにより、多様で安定した販売先の確立を進めていく。</li> <li>・町推奨品制度は効果的に活用が図れておらず、製造者のメリットが少なかったことから、制度の在り方や支援方法について見直しを行った。今後、制度の価値を高めていくことで、農畜産物の活用と産業の振興につなげていく。</li> <li>・町内産農産物の学校給食への安定供給と、町内産有機農産物の学校給食への導入体制を構築していくためには、生産から搬入までを適切にマネジメントしていく人材が必要であり、供給体制づくりを進めていく人材確保が課題となっている。令和5年度に一定の供給体制づくりが確立されたことから、地産地消の促進と将来的なオーガニック給食の実現に向けて取組を加速させていく。</li> <li>・三本松加工所を拠点に農産物の加工品の製造体制が整い、新たな商品開発も徐々に進んでいる。今後は、現在計画を進めている国庫補助事業を活用した新たな加工施設建設を推進するとともに、開発した商品の販売促進や新たな加工品の商品化に向けて、町内外の多様な事業者との連携や協調関係を進めていく。</li> <li>・農業体験等を通して新規就農者の獲得や関係人口の創出に向けて様々な取組を実施しており、徐々にその成果が表れつつある（地域課題解決プログラム等の実施、りんご学校受講生等による都市部でのマルシェ開催等）。今後は、農業体験を通じた都市部企業等との交流機会や連携を強化していくとともに、都市部人材や企業等と濃密な関係を構築していく仕組みづくりを進めていく。また、農業体験に来町する人々を増やし、来町者の利便性を高めていくためには、宿泊環境や移動手段等の整備とその体制確保が必要である。</li> </ul>		

第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】


分野3	産業・観光		
基本方針	創意工夫による新たな産業・しごとの創出と地域に根差した産業基盤の継承		
政策2	商工業振興によるにぎわいのあるまちづくりの推進		
関連するSDGs			
主な担当課・担当係	産業観光課商工観光係／企画課地域振興係・企画係		
課題と方針	<p>複数の事業の組み合わせや協業等により、安定した雇用の創出、既存事業の維持・承継、更には再生・拡大を図る取組を推進するとともに、地域の資源や特色を活かした創業・起業、企業の進出を積極的に支援し、地域活性化とにぎわいのあるまちづくりを推進します。</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用環境の安定化</li> <li>・既存の商店街のにぎわい再生</li> <li>・事業承継や新規事業の立ち上げに対するサポート強化</li> <li>・地域に根差した商工業の育成・強化</li> </ul>		
行動目標	町の商店を積極的に利用し、地域の商工業をみんなで支えよう！		
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)
	平成26年度からの空き店舗への出店件数（累計）<施策1>	4件	10件
	創業支援資金利用件数<施策1>	4件	5件
	企業誘致件数（累計）<施策1>	4件	6件
	特定地域づくり事業協同組合員数<施策2>	0者	4者
	創業比率<施策2>	1.53%	1.80%
	仕事に関するプログラムの開催数<施策2>	10回	10回
	コワーキングスペース利用者数<施策2、3>	1,100人	2,000人
	事業チャレンジ提案数（累計）<施策3>	27件	60件
	住民 評価	にぎわいのあるまちづくり満足度<施策1>	13.9%
雇用・就業の環境づくり満足度<施策2>		16.6%	↑
町内の店舗を積極的に利用している（スーパー、飲食店、コンビニ等）		73.5%	↑
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等		
C	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いいづなコネクトを拠点とするしごとづくり支援や「ツクリバ」等による交流促進の取組等を通して、創業や起業の機運が高まり、サテライトオフィス誘致や空き店舗活用等が順調に進捗している。</li> <li>・新たな事業創出や出店等も増加している他、テレワーク等による多様な働き方が可能な環境が整備されたことで、起業や人の流れが創出されつつある。</li> </ul>		
	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街など町内既存事業者の後継者不足や活力の低下、商店街などまちなかの活性化。</li> <li>・若者が町内で働くことを選択できる環境づくりやシニア層等のセカンドキャリアの仕組みづくり。</li> </ul>		
A 順調 (目標以上に進捗)	<p>&lt;方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いいづなフューチャースクール」事業の内容等の見直しと拡充を進め、町としての創業支援の仕組みを確立するとともに、都市部からの仕事と人の流れを生む多様な仕掛けづくりを進め、商店街等の再生と「まちなか」の活性化を図っていくことが必要。</li> <li>・地域資源の活用や磨き上げにより事業化を進める意欲ある者を発掘、誘致し、町内外の事業者等と連携を強化することで、新たな産業と雇用の創出を図っていく。</li> </ul>		
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)			
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)			
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)			

施策1	歩きたくなるまちづくりの推進						達成度評価	担当係等
①	空き店舗や空き家を活用した創業・新規出店を支援するとともに、助成制度を充実するなど、企業の誘致に取り組みます。						A	商工観光係
②	商店街の活性化に向けたイベントや産業まつりを開催するなど、にぎわいの創出や消費の促進を高める取組を推進します。						B	商工観光係
③	創業支援や事業承継に関する講座を積極的に開催するなど、商店街のリーダーや商工業の後継者の育成を支援します。						D	商工観光係
④	制度資金や融資あっせん等により、企業の経営基盤の安定と強化に取り組みます。						B	商工観光係
⑤	クラウドファンディングの活用などによる、新たなビジネス展開を支援します。						D	商工観光係
⑥	民間活力による買い物しやすい環境づくりを推進し、地域経済の活性化を図ります。						B	商工観光係/D X推進室
K P I ①	平成26年度からの空き店舗への出店件数（累計）（件）						商工観光係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	4	—	—	—	—	10	100%	
実績		9	10					
K P I ②	創業支援資金利用件数（件）						商工観光係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	4	—	—	—	—	5	80%	
実績		3	4					
K P I ③	企業誘致件数（累計）（件）						商工観光係/地域振興係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	4	—	—	—	—	6	67%	
実績		4	4					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空き店舗活用補助金や創業支援補助金による、創業・起業家に対する支援の実施（R5実績：空き店舗活用補助金7件/創業支援補助金5件）。</li> <li>・ 牟礼駅前夏祭り、栄町商店街活性化売り出しイベント等の開催支援。</li> <li>・ 制度資金の融資あっせん、利子補給等による、経営安定化支援の実施。</li> <li>・ 移動販売事業補助金による移動販売事業者の支援（移動販売車の導入等）等を実施し、遠隔地の高齢者等の買い物手段を確保。</li> <li>・ スマートグラスを活用した「お買い物サポート」の実施。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 創業や起業の機運を高め、空き店舗活用補助や創業支援補助等を拡充してきたことで、空き店舗活用や新たな出店等も増加しており一定の成果が見られる。一方で、既存店舗の廃業や今後の事業継続が不透明な店舗もあることから、事業継承や事業者誘致などの支援策について、引き続き強化していく必要がある。</li> <li>・ 商店街への新たな店舗進出、駅前夏祭り駅前商店街による活性化イベント等の実施など、徐々に商店街の活性化が図れているものの、賑わいの創出に向けては課題も多いことから、商店街関係者等との意見交換や協議を重ね、効果的な取組や事業の方向性を探っていく。</li> <li>・ 事業者等の経営が厳しさを増している状況もあることから、経営の安定化に向けて効果の高い支援策等を研究していく。また、商工会と連携し、創業支援や事業継承等に関する講座の開催や支援体制の整備を図っていく必要がある。</li> <li>・ スマートグラスを活用した「お買い物サポート」は、想定より利用者が少なかったことから、より多くの方に利用してもらえるサービスに成長させていくとともに、引き続き買い物しやすい環境について研究を進めていく。</li> </ul>							

施策2	雇用・就業の環境づくり、創業・起業支援						達成度評価	担当係等
①	いづなコネクトEASTを拠点に、「しごとの創業」や「しごとを通じた交流」の展開を通じて、地域経済の活性化を図り、都市部から企業や人の流れを創出します。						C	地域振興係/人口増進室
②	「しごと」に関する情報の提供について多くの機会を設けるとともに、関係機関と連携し、若者が地域で働きやすい環境を創出します。						C	商工観光係/地域振興係
③	労働意欲を持つ高齢者などの経験・知識や能力を活かした就業機会の創出を支援します。						D	商工観光係/地域振興係
④	多様な働き方を推進し、性別や年齢、障がいの有無などの個々の属性にとらわれず、全ての人々が安心して地域で働くことのできる環境を整えます。						D	地域振興係/商工観光係/福祉係
⑤	町全体の仕事を組み合わせて年間を通じた仕事を創出し、地域の担い手を確保するとともに事業者の維持・拡大を推進します。						C	企画係
KPI①	特定地域づくり事業協同組合員数（者）						企画係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	0	—	—	—	—	4	0%	
実績		0	0					
KPI②	創業比率（%）						地域振興係/商工観光係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	1.53	—	—	—	—	1.80	58%	
実績		0.76	1.05					
KPI③	仕事に関するプログラムの開催数（回）						地域振興係/商工観光係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	10	—	—	—	—	10	200%	
実績		19	20					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しごと創出プログラム「いづなフューチャースクール」事業（R5実績：小商い講座他の実施）を通じた、ローカルベンチャー育成と都市部等との交流創出の実施</li> <li>・ワーケーションの実証実験の実施（3回／参加者49名）</li> <li>・無料職業紹介所の設置や就職情報サイト「おしごとながの」等による、しごと情報の提供。</li> <li>・いづなコネクトEASTの「ツクリバ」を拠点に、若い世代が気軽に創業や起業について相談し、集える機会と場を提供するとともに、仕事づくりについて幅広くサポートする環境を整備。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いづなフューチャースクール」のプログラム内容等の拡充（都市部企業・人材と町内事業者や起業人材等との交流やマッチング機会のプログラムづくり等）により、都市部からの仕事と人の流れを生んでいく仕組みを構築していく必要がある。</li> <li>・ワーケーション構築事業は、様々な対象者をターゲットに試験実施したことで、多様な都市部企業や人材に対し、町に対する関心を高めることができた。今後はワーケーションを継続的に受入っていく体制整備を進めていく。</li> <li>・「ツクリバ」を拠点に、情報提供、交流の場づくり、ビジネス・起業セミナー等の支援提供などを展開・強化していくことで、若者が町内で働くことを選択していける環境づくりと支援体制を整備していく。</li> <li>・特定地域づくり事業協同組合制度の活用について、令和6年度中の関係者との協議、令和7年度中の組合設立を目標に、設立に向けた準備に着手。</li> </ul>							

施策3	稼げる地域・多様な仕事のある地域の実現						達成度評価	担当係等
①	地域資源を活用した産業を支援し雇用の創出を図ります。						C	商工観光係
②	地方での新たな働き方と多様なしごとを創出するため、サテライトオフィス等の整備を進めるとともに、県外企業等の誘致を積極的に推進します。						B	地域振興係/ 商工観光係
③	創業や創業後のヒントや情報を得られるセミナー等を実施し、いろいろな事業チャレンジに向けたサポートを積極的に推進することで、ローカルベンチャーの育成に努めます。						C	地域振興係
④	町内のコワーキングスペース等を活用し、多様な働き方が可能な地域社会の形成に向けた雇用創出型テレワーク組織の整備を進めます。						B	地域振興係/ 子育て支援係
⑤	いろいろな事業チャレンジのOB・OGへのアフターサポートを充実させ、稼げるビジネスの創出を進めます。						C	地域振興係
K P I	コワーキングスペース利用者数（人）						地域振興係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	1,100	—	—	—	—	2,000	45%	
実績		735	901					
K P I ②	事業チャレンジ提案数（累計）（件）						地域振興係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	27	—	—	—	—	60	70%	
実績		30	42					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きなことや、やってみたいことを事業化する「小商い講座」を実施し、地域資源を活用した産業創出を支援するとともに、いろいろなコネクトEASTの「ツクリバ」において、講座参加者や創業等の相談者に対し伴奏支援を実施。</li> <li>・いろいろなコネクトEASTの3階の改修工事を実施し、サテライトオフィスやテレワークスペースとして整備。引き続き利活用事業者の誘致を強化していく。</li> <li>・いろいろなコネクトEASTの「ツクリバ」を拠点とする、起業相談やセミナー等の開催。</li> <li>・テレワーク等の推進を図るため、動画作成講座、デザイン講座、アプリテスト講座等を開催。子育てと仕事の両立に関する講座等を通して、ワークセンター（iワーク）を活用した多様な働き方の提案と実践。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創業支援の仕組みづくりを確立していくため、町内外の事業者や関係者との連携・協働を進めるとともに、りんご残渣の活用のように、改めて町の有する多様な地域資源に着目することで、新たな産業創出に向けた取組や事業化を促進していく。</li> <li>・仕事の間を選ばない業種や企業に対し、町の自然環境の良さ等の環境による仕事の能率向上などについてSNS等を活用し発信・PRするなどし、都市部企業の誘致と関係構築を促進していく。</li> <li>・いろいろなコネクトEASTの3階整備が完了したことから、都市部企業等のサテライトオフィス誘致を強化していく。</li> <li>・「ツクリバ」を拠点に、起業セミナー等によるビジネス創出支援を進めるとともに、創業等に意欲ある者たちの交流と育成の場として機能強化を図っていく。いろいろな事業チャレンジの仕組みが減退していることから、創業・起業に向けたプログラム内容及び支援内容等を見直し、人材の呼び込みと支援の仕組みを再構築していく必要がある。</li> <li>・地域おこし協力隊などの活用により、テレワークのコーディネーターや創業支援の専門員等を配置することで、起業支援や雇用創出型のテレワーク組織等の整備を進めていく。</li> <li>・ワークセンター利用者から、リーダー等を育成していくなど、多様な働き方による雇用や仕事を創出していくロールモデルの構築やテレワークの組織化を推進していく。</li> </ul>							

第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】


分野3	産業・観光			
基本方針	創意工夫による新たな産業・しごとの創出と地域に根差した産業基盤の継承			
政策3	町の魅力を活かした観光まちづくりの推進			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	産業観光課商工観光係／企画課企画係			
課題と方針	<p>地域の暮らしや産業とともにある美しい自然や景観、歴史・文化、食などの町の魅力の醸成を図り、それを来訪者に満喫してもらう観光まちづくりを推進します。</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウィズコロナ時代における新しい旅のスタイルへの対応</li> <li>・インバウンド（訪日外国人旅行者）のニーズの取り込みと受入れ環境の整備</li> <li>・周辺市町村等との広域的な連携</li> <li>・来訪・滞在を促す魅力発信力の強化</li> <li>・利便性の高い交通手段の確保</li> </ul>			
行動目標	みんなで観光客を「おもてなし」しよう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	公園整備数<施策1>	0か所	4か所	
	観光客数<施策2>	15万人	50万人	
	外国人宿泊者数<施策2>	0人	100人	
	町観光サポーターの登録者数<施策2>	7人	30人	
	飯綱町ファン倶楽部会員数（累計）<施策2>	420人	500人	
	インバウンド周遊プランの作成<施策2>	1プラン	3プラン	
	iバスコネクト利用者数<施策3>	89人	320人	
	住民 評価	誰もが懂れる観光地づくり満足度<施策1>	15.7%	↑
		国内外からの誘客の促進満足度<施策2>	12.4%	↑
観光客をおもてなししたい気持ちがある		45.9%	↑	
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
<b>C</b>	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人宿泊者数の増加。</li> <li>・iバスコネクトの利用者増。</li> </ul>			
A 順調 (目標以上に進捗)	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力のある観光商品と体系的な観光メニューやプログラムの整備。</li> <li>・観光メニューやプログラム等を企画、運営していく人材や事業者の確保と体制整備。</li> <li>・インバウンド誘客、ニーズに応じた二次交通の整備、旅行会社や町内事業者等との連携強化など。</li> </ul>			
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)	<p>&lt;方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力的な観光メニューの創造や誘客に向けた広域観光プラン等の企画と構築など、観光事業を総合的かつ実践的に進めていく体制整備の強化が必要。</li> </ul>			
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光資源の掘り起こしやターゲットの絞込み等、観光事業の方向性を戦略的に定め、施設整備や更新についても計画的に進めていく。</li> </ul>			
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な二次交通手段の確保に向けて、ライドシェア等の新たな仕組みづくりについて研究・検討していく。</li> </ul>			

施策1	誰もが憧れる地域づくりの推進						達成度評価	担当係等
①	地域の歴史や文化、自然など、特色ある資源を活かした町ならではの体験型の観光メニューを充実させます。						C	商工観光係
②	農業、スポーツ、文化など分野間の連携を深め、魅力ある観光プログラムを提供します。						D	商工観光係
③	計画的な施設の更新や充実を図るとともに、国外を含む外部からの視点を取り入れるなど、観光資源の磨き上げを行います。						D	商工観光係
④	県内市町村及び隣接県や事業者との広域観光連携を推進します。						B	商工観光係
⑤	町内に多世代が交流できる公園を整備し、多様な人々が集うイベント等を開催することで町の露出度を高め、にぎわいを創出します。						D	建設係/地域振興係/ 商工観光係/企画係
K P I ①	公園整備数（か所）						建設係/地域振興係/商工観光係/ 企画係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	0	—	—	—	—	4	25%	
実績		1	1					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東高原観光施設の指定管理者による、飯綱東高原を中心とした自然を活かした観光メニューの整備。</li> <li>・信越9市町村広域観光連携会議、しなの鉄道沿線観光協議会など、広域観光連携の取組に複数参画し、観光事業の広域連携を進めている。</li> <li>・牟礼駅の高台に整備した自然公園の効果的な活用等に向けて検討等を開始。</li> <li>・いづなコネクトEASTの公園整備基本設計の実施。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力のある観光商品等を整備し提供していくためには、観光資源を掘り起こしと、観光メニューやプログラムを企画立案できるプランナー等の人材の確保が必要である。また、官民の連携を強化し、町の観光コンテンツづくり、観光メニューとしての体系整備、情報の発信等を総合的に運営していく体制整備が必要である。</li> <li>・需要に応じた観光メニューの構築や客層のターゲットの絞込みなど、観光事業の方向性を戦略的に定めることで、施設整備や更新について計画的に進めていくことが必要。また、広域周遊プラン等の企画や開発を具体的かつ実践的に進めていくことが必要である。</li> <li>・町公園整備構想に基づき、町内4カ所（牟礼駅前佐軍神社周辺、いづなコネクトWEST、いづなコネクトWEST、旧三水村役場跡地）の公園整備について順次進めているところであるが、今後の町民ニーズや財政事情等も踏まえながら、整備内容等について柔軟に見直していく必要がある。また、公園が効果的に活用されるよう、地域と連携したイベントの実施等について検討していく。</li> </ul>							

施策2	国内外からの誘客の促進						達成度評価	担当係等
①	広域的な観光連携の取組のなかで、効率的な情報発信に努めるとともに、SNSなどの時代に即した様々な媒体による情報提供を進めます。						D	商工観光係
②	ウィズコロナに応じたインバウンド誘客策を検討し、外国人観光客の招致と受入体制の充実を図ります。						D	商工観光係
③	来訪者に対して、地域の案内・紹介等を行う観光ボランティアや町の魅力、各種情報を口コミなどで発信する観光サポーターの育成を図るなど、町を愛する全ての人により町をPRする機運を高めます。						C	商工観光係
④	旅行会社の体験ツアーなど、民間事業者と連携し新たな誘客を図ります。						D	商工観光係
⑤	ウィズコロナに応じたアウトドア等の観光施設を整備し、誘客を推進します。						D	商工観光係
KPI①	観光客数（万人）						商工観光係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	15	—	—	—	—	50	42%	
実績		21	21					
KPI②	外国人宿泊者数（人）						商工観光係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	0	—	—	—	—	100	226%	
実績		51	226					
KPI③	町観光サポーターの登録者数（人）						商工観光係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	7	—	—	—	—	30	40%	
実績		11	12					
KPI④	飯綱町ファン倶楽部会員数（累計）（人）						商工観光係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	420	—	—	—	—	500	56%	
実績		265	282					
KPI⑤	インバウンド周遊プランの作成（プラン）						商工観光係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	1	—	—	—	—	3	0%	
実績		0	0					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光サポーターの確保と育成（R5年度1名増）</li> <li>・長電バス(株)への委託による「日帰り満喫バスツアー」の実施（2回：参加者計162名）。</li> <li>・民間事業者によるグランピング施設の拡充、オートキャンプ場の設備更新など、アウトドア施設の機能拡充により誘客を推進。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飯綱町ファン倶楽部の会員数は基準値から大きく減少していることから、新規獲得に向けた特典の拡充等を検討するとともに、観光サポーターを更に確保し、観光PRを多角的に展開していく新たな仕組み等について検討していく。</li> <li>・コロナが5類に移行し外国人観光客は増加傾向にあるが、本町ではインバウンド誘客が十分に進んでいない状況にある。インバウンド誘客の機運を高めるとともに、その取組や方策等について研究を進める必要がある。</li> <li>・アウトドア観光は、体験型観光との親和性も高く、今後も一定の需要が見込めることから、安定した誘客の確保に向けて引き続き施設機能の拡充等を図っていく。</li> <li>・観光の新たな魅力や付加価値を提案するとともに、体験型観光のメニュー開発、旅行会社への売込や民権事業者と連携したツアー開発について積極的に進めていく。</li> </ul>							

施策3	二次交通の利便性向上						達成度評価	担当係等
①	i バスコネクトの運行ダイヤ等を見直し利便性の向上に努めます。						A	企画係
②	E-バイクを活用する町内周遊方法について検討します。						D	商工観光係
③	カーシェアリング等、移動手段の確保について検討します。						D	商工観光係/企画係
K P I	i バスコネクト利用者数（人）						企画係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	89	—	—	—	—	320	212%	
実績		514	677					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度からiバスコネクトの運行方法を定時路線方式へ変更し、予約せずに利用できる仕組みに見直したことで、利用者が増加。</li> <li>牟礼駅にレンタルE-バイクを4台設置し、観光協会でサイクリングコースを案内する等、E-バイク等を活用した町内周遊を促進（R5利用実績6名）。</li> <li>二次交通手段としてのEバイクの普及、タクシー事業者の育成及びライドシェア等の仕組みづくりについて研究等を開始。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>i バスコネクトの運行を予約型から定時路線方式に変更したことで、利用者は増加傾向にあるものの、1乗車あたりの行政支出は依然として大きいことから、運行形態等の更なる改善や見直し等について検討していく必要がある。</li> <li>現状はE-バイクの有効活用が図れなっていないため、サイクリングコースの造成やサイクルステーション等の整備を進めていく必要がある。また、E-バイクの活用に向けては、サイクルコンピューターの導入や、訪日外国人等の誘客につなげるための周遊プラン等の整備について検討を進めていく。</li> <li>二次交通手段としては、レンタカーやタクシーの利用ニーズが高いと考えられるため、タクシー事業者の育成やタクシー料金の廉価化について検討を進めていくことが必要であるが、慢性的な運転手不足等が大きな課題となっていることから、多様な二次交通手段の確保が不可欠である。こうした現状を踏まえる中で、デマンドバス利用の町外者への拡大、ライドシェア（自家用車有償運送）の導入、移動手段としてのEバイク活用等について検討を進めていく。</li> </ul>							

第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】


分野4	安全・基盤			
基本方針	人口減少や自然災害、生活環境の多様なリスクに対応した安全な暮らしの実現			
政策1	暮らしを支える生活機能の維持・継承			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	建設水道課建設係・維持管理係・上水道係・下水道係／総務課危機管理室			
課題と方針	<p>既存のインフラの老朽化や生活を支えるインフラを維持しつつ、将来の人口動態を踏まえた計画的な整備・維持管理を進め、快適で安心・安全な生活基盤を継承します。</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口や交通量の減少への対応</li> <li>・インフラの長寿命化</li> <li>・安全で利便性の高い基盤整備</li> </ul>			
行動目標	ごみ拾い、草刈り、雪かきなどを積極的に行おう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	道路改良率<施策1>	49.8%	50.7%	
	道路愛護活動実施地区<施策1>	31地区	35地区	
	水道有収率<施策2>	69.4%	80.0%	
	下水道水洗化率<施策2>	91.5%	93.0%	
	住民 評価	暮らしと交流を支える道路整備満足度<施策1>	33.7%	↑
		生活環境の向上を図る上下水道整備満足度<施策2>	51.3%	↑
		安全・安心な居住環境整備満足度<施策3>	21.4%	↑
		ごみ拾い、草刈り、雪かきなど地域のボランティア活動に積極的に参加している	47.9%	↑
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
<b>B</b>	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町道、上下水道等のインフラについては、計画的に整備を進めており、安心・安全な生活基盤の維持が図られている。</li> <li>・普光寺焚荒地区に4棟（8世帯）の若者住宅の建築が進捗。</li> </ul>			
A 順調 (目標以上に進捗)	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的な道路整備及び道路環境の維持に向けた、財源・人材等の確保。</li> <li>・安定した給水体制の確保と持続的な水道事業、下水道事業の効率的で持続可能な経営。</li> <li>・今後、増加が見込まれる特定空家等の対策。</li> </ul>			
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)	<p>&lt;方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路改良については、地域の実情に応じて計画的に整備を進めていく。また、道路改良にあたっては、安全な通行確保を最優先し、自然災害防止対策や小規模側溝整備等を中心に整備を進めていく。</li> </ul>			
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定した給水体制の確保と持続的な水道事業の観点から、計画的な水道料金の改定（5年毎10%程度の改定）を計画していく必要がある。また、下水道事業の効率的で持続可能な経営に向け、策定計画に基づき、施設統廃合、老朽化対策等を着実に進めていく。</li> </ul>			
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅需要に対応するため、今後も計画的に町営住宅等の整備・修繕を図っていくとともに、空家等を活用した住宅の供給体制整備等についても検討していく。また、特定空家の措置等についても、町としての方針・対策を具体的に検討していく。</li> </ul>			

施策1	安全で快適に通行できる道路整備・維持管理						達成度評価	担当係等
①	町道の整備計画を策定し、計画的に幹線道路を整備するとともに、地域の実情に応じた生活道路の改良を進めます。						<b>C</b>	建設係
②	歩道の整備により歩行者の安全性を確保するなど、効果的な道路整備を推進します。						<b>B</b>	建設係
③	町道、橋梁等を計画的に点検・補修することにより、生活に欠かせない町道等の安全性を確保します。						<b>B</b>	建設係
④	雪道の安全計画を見直し、車道・歩道の除雪体制を強化するなど、冬期間の道路の安全性を確保します。						<b>B</b>	維持管理係
⑤	町道管理を区・組が行う自主的活動に対し、道路愛護活動として支援を行います。						<b>B</b>	維持管理係
K P I ①	道路改良率 (%)						建設係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	49.8	—	—	—	—	<b>50.7</b>	<b>99%</b>	
実績		49.8	50.0					
K P I ②	道路愛護活動実施地区 (地区)						維持管理係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	31	—	—	—	—	<b>35</b>	<b>69%</b>	
実績		26	24					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町道については計画的に点検・補修を実施し、安全性の確保を図っている他、近年の短時間豪雨等への対応に向けた排水路整備を中心とする道路改良を実施。橋梁については、R5年度に八幡橋・石原橋の修繕を実施。</li> <li>・除雪については、町除雪計画に基づき作業体制の強化と安全性の確保に努めている。</li> <li>・町道のゴミ拾い、草刈り、修繕など、地域において自主的に道路維持管理を行う活動に対して補助金を交付。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、町道整備計画の策定作業を進めているが、道路改良については整備計画の有無に関わらず、地域の実情に応じて計画的に整備を進めていく。また、道路改良にあたっては、安全な通行確保を最優先し、自然災害防止対策や小規模側溝整備等を中心に整備を進めていく。</li> <li>・通学時間帯等の車両の通行も多いことから、歩車分離を徹底した安全な歩道整備を進めていく。</li> <li>・町道については、計画的に補修・改良を進め、引き続き安全性の確保に努めていく。また、町内の橋梁は老朽化が進み、修繕が必要な施設が増加していることから、今後は集約（撤去）等も含め計画的に整備を進めていく。</li> <li>・除雪については、町民から様々な要望があり、細かな対応を求められるため、引き続き除雪・排雪の体制強化を進めていく必要があるが、オペレーターなど除雪作業を担う人材が不足しており、その確保が課題となっている。</li> <li>・地域が自主的に行う道路愛護活動は適切な道路維持管理に欠かせない活動であることから、今後も継続して支援を行うとともに、取組・支援内容等の拡充についても検討していく。</li> </ul>							

施策2	生活の基盤となる上下水道等の整備・維持管理						達成度評価	担当係等
①	水道施設や水道管の老朽化による更新並びに耐震化を計画的に行い、安定した給水体制を確保します。						C	上水道係
②	水道水源の保全を図るとともに新たな水源を確保します。また、水質の向上を図るため、水道施設の改良や水道管の布設替えを行い、安全・安心な水を提供します。						C	上水道係
③	下水道への接続の普及啓発を行うなど、水洗化率向上を図ります。						B	下水道係
④	下水道事業の効率的な経営を図るため、広域化・共同化事業により処理施設の統廃合を推進するとともに、施設の老朽化対策や更新費用を的確に捉え、将来にわたり持続可能な経営基盤の確保及び適切な維持管理を推進します。						B	下水道係
K P I ①	水道有収率 (%)						上水道係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	69.4	—	—	—	—	80.0	93%	
実績		72.5	74.0					
K P I ②	下水道水洗化率 (%)						下水道係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	91.5	—	—	—	—	93.0	99%	
実績		92.7	92.8					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飯綱町水道事業基本計画(R5～R19)、水道台帳事業計画 (R6～R20) を策定し、牟礼・三水地区を統合した飯綱町水道事業経営認可の許可を得る。</li> <li>・老朽管の布設替工事、浄水場当計測器の更新、奈良本配水池に追塩装置の設置等の実施。また、重要給水施設排水管耐震化のため、日向配水池系管路布設替詳細設計を実施。</li> <li>・業務状況報告書の公表をはじめ、定期的に下水道の接続普及啓発を実施し、水洗化率の向上を推進。</li> <li>・下水道施設の広域化のため、農業集落排水施設クリーン上赤塩・クリーンピア倉井の公共下水道への統合接続工事実施設計書を作成した他、し尿等投入施設の建設工事詳細設計書を作成。</li> <li>・ストックマネジメント計画等により、老朽下水道管の更新及び修繕と併せ、マンホール蓋の更新を実施。処理場の機能強化工事として、主要な機械・装置の更新を実施。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三水地区の主要浄水場を日向浄水場に移行するため、土橋水源取水施設建設、新配水池建設及び重要給水施設配水管耐震化等計画を進める。また、牟礼地区の第5・6配水池を統廃合し、新配水池の整備計画を進めるとともに、配水管のバイパス化により、老朽管の廃止と布設替による耐震化を進める。</li> <li>・安定した給水体制の確保と持続的な水道事業の観点から、事業計画の財源確保のため、必要給水収益を算定し水道料金の改定を計画していく必要がある。</li> <li>・新土橋水源をR7年度中に稼働し、堀越、若宮地区への配水をR7年度中に開始する計画。また、日向系新配水池をR8年度中に完成させ、日向浄水場の配水を三水地区に順次拡大する。</li> <li>・漏水箇所の早期発見のため、人工衛星を利用した漏水調査やA Iを活用した水道管劣化予測診断による老朽管の長寿命化を図る。また、老朽管布設替後は、一時的に有収率は向上するが、漏水復元(新たな漏水が発生する現象)が起こるため、漏水復元を想定した対策と老朽管の計画的・継続的な更新が必要である。</li> <li>・水洗化率は概成に近い状況にあるが、「建物の跡継ぎがない」等の理由から、下水道への切替をためらう方もみられるため、接続の動機付け等の聞き取りとその結果に基づく対応と支援を検討していく。</li> <li>・下水道事業の持続可能な経営に向け、計画に基づく設備更新や老朽化対策等を進めていく。また、処理場等施設の機械電気設備の更新計画を策定し、既存施設の長寿命化を図る必要がある。</li> </ul>							

施策3	安全・安心で快適な居住環境の整備・継承	達成度評価	担当係等
①	住宅の耐震診断や耐震補強の支援を行うことにより、町内建築物の耐震強化を促進します。	C	建設係
②	公共建築物やライフラインなどの耐震化を推進します。	C	危機管理室/各施設所管課
③	老朽化による倒壊等、保安上危険となるおそれのある空き家などの所有者へは指導を行うなど、適切な措置・対応を行います。	C	維持管理係
④	若者や高齢者等の多様なニーズに対応した町営住宅などの整備・確保を図ります。	A	維持管理係
K P I	住民評価指標のため、次期総合計画策定時に検証・評価		
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木造住宅耐震改修促進事業（耐震診断）の実施（R5実績：1戸）。</li> <li>・飯綱町国土強靱化地域計画（R4～R8の5ヶ年計画）に基づき耐震化等を推進。</li> <li>・特定空家（保安上危険となるおそれのある空家）1軒について、所有者への指導を目的とする調査及び管理依頼通知を実施。また、宅地擁壁の崩壊危険箇所（1箇所）について、調査及び管理依頼通知を実施し擁壁撤去に至った。</li> <li>・R4年度より3ヶ年計画で普光寺焚荒地区に4棟（8世帯）の若者住宅の建築を実施中（R5実績：1棟2戸建設）。</li> </ul>		
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等		
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修等に対する補助金はあるものの、実際に改修等をする際の自己負担が大きいため、改修工事にまで至らないケースが多いことから、耐震強化を促進するためには、耐震改修に対する支援の拡充を図っていく必要がある。</li> <li>・公共施設の耐震化については、施設更新や改修のタイミングや、強靱化地域計画等に基づき順次実施していく。</li> <li>・特定空家等への対応は、町民からの情報提供に基づく調査・指導等を実施しているところであるが、特定空家等の問題は益々増加していくことが危惧され、その措置・対応も大きな課題となることが想定されることから、調査・指導等の体制づくりを進めるとともに、今後は、特定空家の措置等について、町としての方針と対策を具体的に検討していくことが不可欠である。こうした背景から、令和6年度に空家調査を実施する予定。</li> <li>・町営住宅等については計画的に整備を進めており、一定の進捗状況ではあるものの、移住ニーズ等が増加していることもあり、住宅需要に対して供給が追い付いていない面もある。住宅需要に対応するため、今後も計画的に町営住宅等の整備・修繕を図っていくとともに、空家等を活用した住宅の供給体制整備等についても検討していく必要がある。</li> </ul>		


第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】

分野4	安全・基盤			
基本方針	人口減少や自然災害、生活環境の多様なリスクに対応した安全な暮らしの実現			
政策2	地域の防災力・防犯力の維持・向上			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	総務課危機管理室/建設水道課建設係/保健福祉課福祉係/教育委員会総務教育係/住民環境課生活環境係			
課題と方針	<p>自然災害や詐欺被害など、生活を取り巻く様々なリスクがあるなか、人口減少や高齢化で弱まる地域コミュニティや自助・共助※の力を高める、防災力や防犯力の維持・向上を図ります。</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・激甚化・頻発化する自然災害への対応</li> <li>・地域コミュニティによる防災力・防犯力の強化</li> <li>・災害リスクの高い地域における防災・減災対策</li> </ul>			
行動目標	日頃から備え、意識し、助け合おう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	自主防災組織の組織化率<施策1>	96.1%	100%	
	災害時支え合いマップを作成した地区数<施策1>	50地区	50地区	
	相互応援協定の締結件数<施策1>	36件	45件	
	火災発生件数<施策2>	3件	0件	
	シートベルト着用率（運転席・助手席）<施策2>	99.5%	100%	
	住民評価	災害に強いまちづくり満足度<施策1>	40.2%	↑
		安全に暮らせる社会づくり満足度<施策2>	32.5%	↑
		防災や防犯に対して、日頃から意識して備えている	67.0%	↑
	評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等		
A 順調 (目標以上に進捗) B 概ね順調 (目標の7~8割の進捗) C やや遅れている (目標の5~7割の進捗) D 遅れている (目標の5割以下の進捗)	<b>B</b>	<成果>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防災計画や国土強靱化地域計画等に基づく、計画的な防災施策の推進・進捗。</li> <li>・交通安全対策、消費者トラブル防止、防犯施策など、計画に沿って進捗。</li> </ul>		
		<課題>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践的な防災訓練等の実施、防災意識の高揚。</li> <li>・消防団員、自主防災組織、つながり隊等、地域防災や地域の安心安全を支える人材の確保と養成。</li> <li>・防災対策等を計画的に進めていくための財源の確保など。</li> </ul>		
		<方向性>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国土強靱化計画に基づき、災害対策等の各施策の財源確保や整備計画等への具体的な反映を進め、防災体制の維持・強化を引き続き図っていく。</li> <li>・消防団員の負担軽減や機能別消防団員の採用などを促進し、社会実態に即した多様な活動参加形態や活動参加に対する柔軟な対応と体制を整え、地域防災の担い手やリーダーを確保していく。</li> <li>・複雑化する消費者トラブルや犯罪等を未然に防ぐための対策強化を引き続き進めていく。</li> </ul>		

施策1	自然災害への対応力の強化						達成度評価	担当係等
①	災害対策を迅速かつ確に実施するため、防災活動の指針である地域防災計画を町的情勢等に応じて見直します。						A	危機管理室
②	土砂災害や洪水の危険性のある場所や地震による揺れやすさなどの危険度を示した地図（ハザードマップ）を随時更新・周知し、災害発生時の避難活動などへの活用を促進します。						A	危機管理室
③	防災訓練や地区の集会等あらゆる機会を捉えて防災意識を啓発し、自助、共助を育み、住民等の意識の高揚を図ります。						C	危機管理室
④	地域における自主防災組織の設立を推進するとともに、その活動を行う上で中心となる人材を養成します。						C	危機管理室
⑤	住民参加型の実践的な訓練を実施し、防災力の強化を図ります。						C	危機管理室
⑥	高齢者や障がい者等が安全に避難できる体制を確立するため、災害の避難時に支援が必要な要配慮者、避難行動要支援者、避難所や福祉施設等を表記した地図（災害時支え合いマップ）を作成し、その内容を周知します。						C	福祉係
⑦	防災行政無線の戸別受信機の普及率向上を目指すとともに、町のメール配信サービス等、複数の情報伝達手段を確保します。また、ドローン等のデジタル技術を活用した情報収集機能を確立するなど、被害状況の把握や防災情報基盤の整備を推進します。						B	危機管理室
⑧	災害に備え、救助活動等に必要な資機材・食料品・医薬品などの備蓄を進めます。また、新型コロナウイルス等感染症対策を講じた上での避難所の役割が求められていることから、段ボールベッドや間仕切り等の設置や運営に係る備蓄品の整備を進めます。						A	危機管理室
⑨	災害発生時における各種応急復旧活動に関する人的・物的支援について、他市町村や民間事業者等と協定（相互応援協定）を結び、災害時に柔軟に対応できる体制づくりを進めます。						A	危機管理室
⑩	町の国土強靱化地域計画の策定を踏まえ、山地や河川など災害の危険性のある箇所を的確に把握し、土砂災害対策など、計画的な整備を進めます。						B	危機管理室
K P I ①	自主防災組織の組織化率（％）						危機管理室	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	96.1	—	—	—	—	100	96%	
実績		94.7	96.1					
K P I ②	災害時支え合いマップを作成した地区数（地区）						福祉係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	50	—	—	—	—	50	100%	
実績		50	50					
K P I ③	相互応援協定（災害時応援等に関する協定）の締結件数（件）						危機管理室	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	36	—	—	—	—	45	129%	
実績		55	58					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定避難所への移動式エアコンの導入、指定避難所の表示看板の設置等による防災対策の推進と強化。</li> <li>各地区等での防災訓練及び防災意識啓発活動の実施など。</li> <li>災害時住民支え合いマップの更新、「つながり隊」による支援体制の整備など。</li> <li>防災行政無線、メール配信サービス、防災公式ツイッター等、複数の情報伝達手段の確保。</li> <li>一般社団法人北信無人航空機プロジェクトとの相互応援協定締結により、災害時におけるドローン等の技術を活用した情報収集機能を構築。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災訓練等は各地区で毎年実施されているが、より実践的な訓練の実施を促していくとともに、引き続き多様な機会を捉えて防災意識の高揚啓発に努めていく。</li> <li>高齢化等により自主防災組織を担う人材の確保が難しい地区もあり、リーダー等の人材養成が課題となっているため、補助金など支援内容等の見直しについて検討していく。</li> <li>災害弱者の支援体制や災害時における人的・物的支援体制の強化を図っていく。</li> <li>国土強靱化計画に基づき、災害対策等の各施策の財源確保や整備計画等への具体的な反映を進め、防災体制の維持・強化を引き続き図っていく。</li> </ul>							

施策2	安全に暮らせる社会づくりの推進						達成度評価	担当係等
①	女性を含めた消防団員の加入を促進するとともに、消防団の訓練や広報活動を充実し、災害対応も含めた防災対策を推進します。						B	危機管理室
②	長野市（長野市消防局）と連携し、鳥居川消防署を中心とした常備消防・救急体制の充実を図ります。						A	危機管理室
③	消防団員のなり手不足解消に向けて、報酬等の見直しや能力や実情に応じて特定の活動にのみ参加する機能別消防団員※の採用等を検討します。						B	危機管理室
④	関係機関と連携し、シートベルトの着用等の街頭指導を行うなど、交通安全に対する意識の高揚を図ります。						C	建設係
⑤	通学路等の標識やカーブミラーなど、交通安全施設の充実を図り、通学路の安全確保を図ります。						C	建設係/総務教育係
⑥	警察署が学校などと協力して設置する「こどもを守る安心の家」等と連携し、子どもの安全を守る対策を推進します。						B	総務教育係
⑦	特殊詐欺や悪質商法の被害など消費者トラブルを防止するため、広域連携での消費生活相談窓口の活用を強化します。						B	生活環境係
⑧	老朽化した防犯灯は、定期的な点検や修繕等対策を講じます。また、必要な箇所への防犯灯の新設や移設を進め、犯罪の未然防止に取り組みます。						B	危機管理室
K P I ①	火災発生件数（件）						危機管理室	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	3	—	—	—	—	0	0%	
実績		2	2					
K P I ②	シートベルト着用率（運転席・助手席）（％）						建設係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	99.5	—	—	—	—	100	97%	
実績		96.0	96.6					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野消防協会と連携して消防団のPR事業を行うなど定期的に消防団への加入促進活動を実施。</li> <li>・鳥居川消防署を中心に、常備消防と救急体制の維持及び充実に向けて連携体制を強化。</li> <li>・消防団の報酬の引き上げの実施、機能別消防団員の採用（R5実績：3名）を実施。</li> <li>・交通安全運動週間に町内7箇所街頭指導による啓発活動の実施。</li> <li>・通学路点検により、路面標示とカーブミラーの更新、町内2カ所に新たに路面標示等を実施。</li> <li>・長野市消費生活センター等の専門相談員による消費生活や法律・税務等の相談機会の確保</li> <li>・老朽化している防犯灯の更新、青色防犯パトロールの実施など。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団員数は減少傾向にあることから、今後は機能別消防団員の採用の検討など、社会実態に即した多様な活動参加形態や活動参加に対する柔軟な対応と体制を整えていくことで、団員の確保を図っていく。また、ポンプ操法大会への参加を取りやめるなど、団員の負担軽減等を進めるとともに、多くの機能別消防団員の採用に向け周知を図っていく。</li> <li>・常備消防・救急体制の充実に向けて、引き続き長野市消防局と連携を強化していく。</li> <li>・通学路等の安全については、過去に整備した安全施設の老朽化が進んでおり、機能低下や路面標示欠損等が増えているため計画的な修繕・更新を進めていく。</li> <li>・昼間の留守宅が増えており、子どもたちを見守る目が減少しているため、「こどもを守る安心の家」の協力者等を増やしていく必要がある。</li> <li>・消費生活センター等の専門相談員による相談会には多くの相談が寄せられており、トラブルの未然防止と解消に一定の成果があがっている。複雑化する消費者トラブルを未然に防止するための相談窓口機能については、引き続き広域連携により強化していく。</li> <li>・防犯灯については支柱が劣化してきているものが多いため、総合的な点検を進め、計画的に更新していく。</li> </ul>							

第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】


分野4	安全・基盤			
基本方針	人口減少や自然災害、生活環境の多様なリスクに対応した安全な暮らしの実現			
政策3	将来にわたり持続可能な行政運営			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	総務課総務係・財政係・危機管理室・ふるさと納税推進室/企画課企画係・DX推進室/税務会計課収納係			
課題と方針	<p>人口減少・少子高齢化の進展により、今後より一層の厳しい行財政運営が余儀なくされることから、更なる効率化と透明性の向上を図ります。また、税金による財源確保のため課税物件の的確な把握及び収納率の維持・向上を図るとともに、多様な収納方法を検討して、納税者の利便性の向上を図ります。</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「新たな生活様式」への行政サービスの対応</li> <li>・返礼品の充実によるふるさと納税額の増加</li> <li>・行政需要に対するデジタル化への対応</li> </ul>			
行動目標	自分たちのお金が適切に使われているかチェックしよう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	町の職員数（病院関係除く）<施策1、2、3>	136人	130人	
	職員提案制度による業務改善数<施策1>	0件	3件	
	出前講座の実施回数<施策1>	29回	100回	
	経常収支比率<施策2>	84.6%	80%以下	
	町税の収納率（固定資産税・住民税・法人税・軽自動車税）<施策2>	99.1%	99.0%	
	マイナンバーカード交付率（累計）<施策3>	17.5%	100%	
	住民 評価	信頼される行政運営満足度<施策1>	25.4%	↑
		持続可能な財政運営満足度<施策2>	21.8%	↑
		質の高い行政サービスの提供満足度<施策3>	24.5%	↑
税金の使われ方に対して関心を持っている		62.5%	↑	
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
<b>B</b>	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税額が過去最高の12億円超を達成。</li> <li>・「書かない窓口」、住民アプリ「いなびいいづな」等、住民サービスの向上と業務効率化が進捗。</li> <li>・行政評価制度の見直しによる、政策や事業等の進捗管理や行政マネジメント体制の構築。</li> </ul>			
A 順調 (目標以上に進捗)	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様化する住民ニーズに対応していくための、業務改善と職員の資質向上。</li> <li>・持続可能な行政運営に向けた財源確保と行財政改革</li> <li>・SDGsに対する理解、意識の醸成。SDGsの目標達成を踏まえた事業実施の推進。</li> </ul>			
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)	<p>&lt;方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な行政運営に向け、安定した財源の確保と人材育成を図っていく。</li> <li>・ふるさと納税による寄附金の増収を図っていくために、返礼品の確保や新しい返礼品の開発等を進めていく。</li> <li>・多様化する住民ニーズに対応するため、分野横断的で迅速なサービス提供体制づくりを進めるとともに、従来の慣習や発想に囚われない柔軟な行政運営を推進していく。</li> </ul>			
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)				
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)				

施策1	信頼される行政運営の推進						達成度評価	担当係等
①	町民の知る権利を保障するとともに、公正で開かれた透明性の高い町政を推進するため、町の情報を積極的に公開します。						A	総務係
②	事務事業の改善に関する職員提案制度を奨励し、事務の効率化を図ります。						B	企画係
③	価値観の多様化、行政課題の複雑化等の課題解決に向け、周辺市町村と積極的に連携を進めます。						C	企画係
④	子どもたちがまちづくりに対して意見を言える場を整え、若い世代の意見を町の施策に積極的に反映させます。						D	地域振興係
⑤	対面に加えオンラインでの職員研修を積極的に行うなど、職員の資質向上を図ります。						B	総務係
⑥	行政職員が積極的に地域に出向き、町の取組を説明するなど、町民との情報交換・情報共有の場づくりに努めます。						B	企画係
K P I ①	町の職員数（病院関係除く）（人）						総務係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	136	—	—	—	—	130	93%	
実績		137	140					
K P I ②	職員提案制度による業務改善数（職員政策Gによる提案実現延数）（件）						企画係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	0	—	—	—	—	3	67%	
実績		1	2					
K P I ③	出前講座の実施回数（回）						企画係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	29	—	—	—	—	100	72%	
実績		55	72					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報公開条例に基づく情報公開の運用（R5年度情報公開請求件数51件）。</li> <li>・職員提案制度を見直し、若手職員による政策研究グループを創設。町の活性化やまちづくりに関する提案まで広く政策提案を求める内容として提案事業を実施し、R5年度は4件の提案、内2件が政策として実現。</li> <li>・長野地域連携中枢都市圏形成に係る連携協約に基づく圏域で取り組む58事業のうち55事業に参画。</li> <li>・職員研修を積極的に実施し資質向上を促進（個別研修：38名・専門研修：7名・独自研修：190名）。</li> <li>・出前講座の実施（R5年度実績：72回）。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民の知る権利として情報の公開を求める権利を保障・尊重した制度運用に努めていくとともに、情報については引き続き積極的に公開していく。</li> <li>・若手職員による政策研究グループを設置して、継続的且つ専門的に政策提案を実施する場を作ったことで、職員提案制度の実効性が高まった。R5は4件の提案があり内2件が事業実施につながったことは大きな成果と評価できる。若手職員による政策提案の取組は、人材育成や職員のスキルアップの観点からも、取組を推進・強化していくことが必要。</li> <li>・連携中枢都市圏をはじめ、周辺市町による事業連携等に一定の進捗がある一方で、現状は実効性のある連携が少ないため、関係する市町村で課題を共有し、共同で事業に取り組む体制を強化していく必要がある。</li> <li>・過去には「中学生議会」等の取組があったが、現在は子どもたちの声を届ける場等は制度的に整備されていない。中学生議会、子ども議会等の機会を意識的に設置していくなどの工夫が必要であるが、学校カリキュラムとの兼ね合い等もあるため、制度として位置づけていくための体制づくりが課題。</li> <li>・多様化する住民ニーズに対応していくため、今後も組織及び職員個々の資質の向上は必須なことから、民間感覚や時代に順応したスキルを身に付けていくための研修機会を増やしていく。</li> <li>・出前講座だけでなく、町民と行政職員が情報交換、意見交換等をする機会を意識的に設定するなど、町民と行政が気軽に話し合い交流できる場づくりを促進していく。</li> </ul>							

施策2	持続可能な財政運営の推進						達成度評価	担当係等
①	町税や使用料など、賦課・利用者負担の適正化と収納率の維持・向上に努めます。						A	収納係
②	コンビニエンスストアなどの身近な場所での納付や、インターネット、クレジットカード等の簡易な方法による納付に関する調査研究等を進め、納税者が納付しやすい環境を整えます。						C	収納係/DX推進室
③	ペーパーレス化や押印の廃止、手続のオンライン化など事務処理のデジタル化や簡素化を進め、行政の事務処理の効率化と経費の削減に努めます。						B	総務係/DX推進室
④	ふるさと納税の促進やホームページ等への広告掲載など、財源確保のための創意工夫を行います。						A	ふるさと納税推進室/企画係
⑤	「最少の経費で最大の効果」が得られるよう、質、量とも最適な行政サービスの運営を実施するため、行政が自主的かつ積極的に各種事業の評価、見直しを行い、その結果を公表します。						B	企画係
⑥	施設の重要度や劣化状況に応じて長期的な視点で優先順位をつけ、町民の安全・安心に直結する施設については着実に更新・修繕を行う一方、十分な利用が見込まれない公共施設については統廃合を進めるなど、計画的に施設を整備します。						A	財政係
K P I ①	経常収支比率 (%)						財政係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	84.6	—	—	—	—	80%以下	95%	
実績		89.7	84.3					
K P I ②	町税の収納率 (固定資産税・住民税・法人税・軽自動車税) (%)						収納係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	99.1	—	—	—	—	99.0	101%	
実績		99.1	99.6					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ R5年度の町税収納率は99.6%で、前年比0.5%の向上。</li> <li>・ 地方税共通納税システムの導入、電子申告支援サービスの実施など。</li> <li>・ 電子決裁システムや書かない窓口の運用、Logoフォームによる手続き等のオンライン化の開始、ペーパーレス会議システムの導入など、行政事務処理等の効率化と住民サービスの向上の促進。</li> <li>・ ふるさと納税の実績 (R5年: 寄付件数/115,878件、寄付額/1,253,625,533円) が過去最高を記録。</li> <li>・ 有料広告実績 (R5年度: hp8件、封筒2件、公共交通マップ2件)</li> <li>・ 行政評価制度の見直しを行い、政策や事業等の進捗管理や行政マネジメント体制の構築を促進。</li> <li>・ 公共施設の中長期的な視点で更新・統廃合等を計画に行うための、個別施設計画を策定。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収納率の向上については、滞納等の事案に応じて適切な対応を図るとともに、滞納整理機構等と連携を図りながら適正に処理を進めていく。</li> <li>・ 電子納税が可能となったことから、納付手続を電子的に行える場を増やすとともに、役場庁舎等で税金や手数料等をキャッシュレス納付できるように検討を進める。</li> <li>・ ペーパーレス化や手続きのオンライン化など業務効率の向上につながる様々なデジタル化が順調に進捗している。更にDXを推進するため、職員のマインド醸成を強化していくことが必要。</li> <li>・ ふるさと納税ポータルサイト「楽天」では、2年連続で「ふるさと納税で全国一りんごを売り上げた自治体」となるなど、大きな成果が見られる。寄附金の増収に向け更なる返礼品確保が課題となるため、新しい返礼品の開発等を視野に入れ、対策を行う必要がある。地場産業の活性化や町の魅力発信に寄与するよう、引き続きふるさと納税制度の活用と取組強化を図っていく。</li> <li>・ 行政評価については制度の大幅な見直しを実施し、総合計画の進捗管理として、政策・施策評価を毎年度実施することとした。また、R5年度評価からは、行政報告書と事務事業評価を一体化し、効率的且つ実効的な評価制度とするとともに、政策・施策評価と併せた行政マネジメント体制の構築を進めていく予定。</li> <li>・ R5に策定した個別施設計画に基づき、施設の統廃合や複合化を計画的に進めていくとともに、大規模改修や長寿命化に備え新たな基金を創設するなど、コストの縮減と平準化を図っていく必要がある。</li> </ul>							

施策3	質の高い行政サービスの推進						達成度評価	担当係等
①	電子申請やマイナンバーカードを活用して、利便性の高い行政サービスの提供を図ります。						A	住民係/DX推進室
②	多様化する住民ニーズに迅速に対応する体制づくりを進め、住民サービスの向上に努めます。						C	総務係
③	SDGsに対する理解を深め、目標達成に貢献できる行政サービスを推進します。						C	企画係
K P I	マイナンバーカード交付率（累計）（％）						住民係/DX推進室	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	17.5	—	—	—	—	100	76%	
実績		61.3	77.5					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民アプリ「iなび いいづな」を活用した、住民票等の各種証明書のオンライン請求サービスの運用。</li> <li>・マイナンバーカードを活用して本人確認を行う「xID」を使った電子申請ツール（LoGoフォーム）の運用開始。</li> <li>・課や係の枠に囚われない分野横断的対応の体制づくりの推進（分野横断的なプロジェクト事業等による対応、職員の意識改革等に向けた啓発等）。</li> <li>・長野地域連携中枢都市圏による「SDGs推進のための調査研究事業」の取組の推進。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子申請ツール（LoGoフォーム）の活用が進み、一部のサービスで利便性の向上が図られているが、さらに活用を進めるため、職員への周知を行っていく必要がある。</li> <li>・窓口に来庁せずに証明書等を受け取ることができ、住民の利便性の向上が図られている。さらに利便性を高めていくとともに、受け取れる証明書等の拡充を検討していく。</li> <li>・住民ニーズが複雑・多様化する中で、分野横断的な対応や、ワンストップで迅速に対応していくための体制を強化していく必要がある。従来の慣習や発想等に囚われず、柔軟性のある対応を進めるとともに、住民サービスの向上を常に意識した対応に努めていく必要がある。</li> <li>・SDGsに対する理解を深めるための研修機会等を増やすなど、職員一人ひとりがSDGsの目標達成を踏まえた施策立案や事業実施を積極的に進めていく環境づくり、意識の醸成・向上を更に図っていく必要がある。</li> </ul>							


第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】

分野4	安全・基盤		
基本方針	人口減少や自然災害、生活環境の多様なリスクに対応した安全な暮らしの実現		
政策4	デジタル化の推進		
関連するSDGs			
主な担当課・担当係	企画課DX推進室		
課題と方針	<p>人口減少時代に対応する持続可能な地域を形成するために、デジタル技術を活用してより効率的で生産性を高める取組が必要であることから、デジタル化のノウハウを有する民間の活力を活用し、地域全体で産官民が連携してデジタル化の取組を積極的に推進します。</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル化による住民サービスの質的向上</li> <li>・全庁的なDX※の導入・推進</li> </ul>		
行動目標	デジタル技術を積極的に活用しよう！		
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)
	専用基地局、中継局の設置（累計）<施策1>	0か所	10か所
	デジタルデバイス機器導入数（累計）<施策1>	0基	100基
	電子申請手続き導入数<施策2>	9手続	27手続
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等		
<b>B</b>	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル技術を活用するためのLPWAネットワーク網の整備</li> <li>・行政手続のオンライン化や「書かない窓口」等の導入による、住民の利便性の向上。</li> </ul>		
<p>A 順調 (目標以上に進捗)</p> <p>B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)</p> <p>C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)</p> <p>D 遅れている (目標の5割以下の進捗)</p>	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DX推進計画の実効性の向上。</li> <li>・電子申請手続の拡充、役場窓口でのキャッシュレス体制整備。</li> </ul> <p>&lt;方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DX推進計画に基づき、デジタル化による住民サービスの向上と活力あるまちづくりを進めるとともに、PDCAによる取り組み状況の把握と事業推進を図っていく。</li> <li>・町民が更に利便性の向上を感じられるよう、PRを積極的に行うとともに、電子申請ができる手続きを増やしていく。また、役場窓口で税金や手数料等をキャッシュレス納付できる体制・環境の整備を進める。</li> </ul>		

施策1	地域のデジタル化により活力あるまちづくりの推進						達成度評価	担当係等
①	町全体のデジタル化を推進する飯綱町DX推進計画を策定します。						<b>A</b>	D X 推進室
②	町内で広くデジタル技術を活用するための専用基地局や中継局などのネットワーク整備を進めます。						<b>A</b>	D X 推進室
③	生産性、効率性、防災力等を高めるためのLPWAを活用したデジタルデバイスの導入を推進します。						<b>B</b>	D X 推進室
K P I ①	専用基地局、中継局の設置（累計）（か所）						D X 推進室	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	0	—	—	—	—	<b>10</b>	<b>400%</b>	
実績		27	40					
K P I ②	デジタルデバイス機器導入数（累計）（基）						D X 推進室	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	0	—	—	—	—	<b>100</b>	<b>73%</b>	
実績		36	73					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R4年10月に策定した飯綱町DX推進計画に基づき各事業を推進。</li> <li>・デジタル技術を活用するためのLPWAネットワーク網を町内に整備（R5実績：基地局3カ所、中継機10カ所）。</li> <li>・スマホやPC等で現地の状況が把握できるよう、町内の広い範囲に各種センサーを所設置（R5実績：高齢者宅10台、飲食施設12台、用水路2カ所、雨量計3カ所、除雪車4カ所、育苗ハウス8カ所）。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DX推進計画を着実に進め、より実効性を高めるため、PDCAによる取組状況の把握と事業推進を図っていく。</li> <li>・町内のほぼ全域でLPWAネットワーク網の整備が完了したが、場所によっては届きづらい場所があるため、センサーの活用状況により、必要に応じて基地局や中継機の整備を検討していく。</li> <li>・低コストで広い範囲をカバーできるLPWA技術を活用し、現地に出向かなくても遠隔地の状況を把握することができるようになった。今後は、取得したデータを分析し、閾値（しきいち）を設定することで、より迅速に住民等へ災害情報の伝達等ができるなど、様々なシーンに合わせて活用を進めていく。</li> </ul>							

施策2	行政のデジタル化による住民サービスの向上						達成度評価	担当係等
①	デジタル技術やデータ等を活用し、オンライン申請など町民の利便性の向上を図ります。						A	D X 推進室
②	デジタル技術やAI（人工知能）等の活用により業務の効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上につなげます。						C	D X 推進室
③	税金や手数料等の支払についてキャッシュレス化を推進します。						C	D X 推進室
K P I ①	電子申請手続き導入数（手続）						D X 推進室	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	9	—	—	—	—	27	478%	
実績		74	129					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ R5年度に試験導入した電子申請ツール「LoGoフォーム」の本格導入（LoGoフォーム102手続）。</li> <li>・ AI-OCR、RPAの活用による業務効率化を検討したが、導入コストに比べて実現できる業務内容等が少なく、効果が見込めないことから、AI-OCRやRPA等の活用は一旦見送ることとし、引き続き業務効率化に向けたデジタル技術の活用方向性の検討を実施。</li> <li>・ 地方税のキャッシュレス納付を進めるため、「地方税統一QRコード」の導入に向けた検討を実施。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民が更に利便性が感じられるよう、PRを積極的に行うとともに、電子申請ができる手続きを更に増やしていくよう庁内に働きかけを行っていく。</li> <li>・ AI-OCRやRPA等の活用については、全庁的に取り組める業務があるかどうか再度検討を進めるとともに、費用対効果も含める中で再度検証する必要がある。また、業務効率化に向けては、今後のデジタル技術の進化・発展等も見込みながら、本町にとってより有効性の高い解決策や方向性を総合的に検討していく。</li> <li>・ 役場窓口で税金や手数料等をキャッシュレス納付できる体制・環境の整備に向けた検討を進める。</li> </ul>							

第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】


分野5	安心・健康・福祉			
基本方針	共に支え合い誰もが安心して暮らすことのできるまちづくり			
政策1	切れ目ない子育て・子育て支援			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	教育委員会子育て支援係・こども保育係			
課題と方針	<p>ハード・ソフトの両面から、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援により、安心して子育てができる環境をつくります。</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・核家族化や働き方の変化、ひとり親家庭などへの対応</li> <li>・飯綱町子育て世代支援施設の有効活用</li> </ul>			
行動目標	子どもたちの成長をみんなで支え、喜びを分かちあおう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	ファミリー・サポート・センターの会員数<施策1>	39人	50人	
	なかよし広場利用者数<施策1>	70人	90人	
	放課後児童クラブ利用者ニーズ調査（開館状況満足度）<施策1>	95.3%	96.0%	
	病後児保育施設利用者数<施策2>	1人	5人	
	女性就業率<施策3>	58.3% (H27)	65.0%	
	支援を受けた者で就労（起業）できた者の数（累計）<施策3>	10人	100人	
	飯綱町ワークセンター新規登録者数（累計）<施策3>	50人	100人	
	住民評価	子どもがいきいきと育つ環境づくり満足度<施策1>	33.2%	↑
		楽しく子どもを育てられる環境づくり満足度<施策2>	26.3%	↑
		女性の希望が叶う子育て環境づくり満足度<施策3>	22.0%	↑
		地域の子どもの成長に関心を持っている（子ども見守り、学校へのボランティア等）	54.6%	↑
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
B	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援施設「みつどんのお家」を拠点に、多様な教室、講座、相談等を展開し、一貫した支援体制と気軽に利用できる環境づくりが進捗。R5はレスパイト支援として子育て世帯訪問支援員派遣事業を創設。</li> <li>・子育て応援祝金事業は好評で、出産から義務教育までの子育て世代の経済的負担の軽減に寄与。</li> <li>・就労形態の多様化に伴う保育ニーズに対応した、サービスの充実と環境づくりの促進。</li> </ul>			
	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状の多様な保育サービスを継続・拡充していくための保育士等人材の確保。</li> <li>・働き方改革やワークライフバランス等を実現していくための事業所との連携や支援。</li> <li>・子どもたちの豊かな育ちの妨げとなる虐待や貧困等の対策及び支援の強化。</li> </ul>			
A 順調 (目標以上に進捗)	<p>&lt;方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待や貧困等の対策については、分野横断的な体制を構築し支援の強化を図っていく。</li> <li>・「みつどんのお家」を拠点に、一貫した子育て支援体制と利用しやすい環境づくりを引き続き進めていく。</li> <li>・子育て世代の多様なニーズを的確に把握し、必要なサービスの提供や支援を実施していくための、分野横断的な体制づくりと環境整備を進めていく。</li> </ul>			
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)				
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)				
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)				

施策1	子どもがいきいきと育つ環境づくりの推進						達成度評価	担当係等
①	妊娠期から出産までの不安解消を図るため、妊娠や出産、産後の育児に関する教室を開催するとともに、その情報を広く周知し、多くの子育て世帯が利用できる体制づくりを推進します。						C	子育て支援係
②	レスパイト（息抜き）支援や出産に対する助成などを拡充し、出産における心理的・経済的負担の軽減を図ります。						A	子育て支援係
③	子育て世代支援施設の運営や事業については運営委員会で検討し、利用者のニーズに寄り添った運営を図ります。						A	子育て支援係
④	様々な事情により一時的に子どもを預けたい保護者を地域で支え合う仕組み（ファミリー・サポート・センター事業）の拡充を図ります。						D	子育て支援係
⑤	子どもが安全・快適に過ごせるよう施設の改修や増築、維持管理、ICT機器の導入など環境整備を計画的に行います。						B	子育て支援係
⑥	放課後児童クラブでは、保護者との意見交換の場を設けるなど、保護者や児童のニーズに応える管理・運営に努めます。また、利用状況に応じた施設の確保や環境整備を計画的に行います。						A	こども保育係
⑦	次代を担う子どもの健やかな成長を願って、子どもの誕生や卒園・卒業等の機会に祝い金や記念品を支給します。						B	子育て支援係
⑧	児童虐待の未然防止と早期発見・早期対応に取り組むため、地域や関係機関との連携を強化します。						B	子育て支援係
⑨	貧困により子どもがいきいきと育つ環境を奪われることのないよう、関係部署と連携して対応します。						B	子育て支援係
⑩	未来の町を担う子どもたちに、自らの可能性に気付く学びの場や、仕事のやりがい学ぶことのできるプログラムを提供し、人材育成を図ります。（※2-3-1-⑤再						B	地域振興係
⑪	ひとり親家庭に対する相談等の支援を強化します。						C	子育て支援係
KPI①	ファミリー・サポート・センターの会員数（人）						子育て支援係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	39	—	—	—	—	50	68%	
実績		37	34					
KPI②	なかよし広場利用者数（人）						子育て支援係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	70	—	—	—	—	90	89%	
実績		70	80					
KPI③	放課後児童クラブ利用者ニーズ調査（開館状況満足度）（%）						こども保育係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	95.3	—	—	—	—	96.0	102%	
実績		96.9	97.9					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援施設「みつどんのお家」を拠点に、「わくわく子育て講座」、「おっばい教室」、健康・栄養相談等、多様な教室、講座、相談等を実施。</li> <li>・子育て応援祝金（誕生祝金、卒業・卒園祝金等）や出産子育て応援給付金の支給。子育て世帯訪問支援派遣事業、ファミリーサポートセンター事業の実施。</li> <li>・保育園送迎バスへの置き去り防止装置の設置や保育園ICT化システムの本格運用など、安心・快適な環境整備を推進。</li> <li>・児童クラブ利用者アンケートにより定期的にニーズを把握し、ニーズに沿った受入体制の確保を進めた。</li> <li>・ひとり親世帯や低所得世帯への各種助成、相談支援などの実施。</li> <li>・ケース会議による児童虐待等の未然防止と早期対応。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種教室や相談等を、子育て支援センター（みつどんのお家）を拠点に実施することで、一貫した支援体制と気軽に利用できる環境づくりを進めていく。</li> <li>・子育て応援祝金事業は大変好評で、出産から義務教育までの子育て世代の経済的負担の軽減にも寄与している。子育て世代の様々なニーズを的確に把握し、事業の改善や拡充など、制度の見直し等を含めて柔軟に対応していく。</li> <li>・子どもたちの豊かな育ちの妨げとなる、虐待や貧困等の対策については、分野横断的な体制を構築し、支援の強化を図っていく必要がある。また、経済格差が拡大傾向にある中で、教育機会格差等を生まないよう、学びや体験等の機会を適切に確保する仕組みづくりを進めていく必要がある。</li> </ul>							

施策2	楽しく子どもを育てられる環境づくりの推進						達成度評価	担当係等
①	妊娠期における講座等の充実を図るとともに、子育て期の親子交流イベントの開催など、子育てしやすい体制を整備します。						<b>B</b>	子育て支援係
②	大学連携事業等の推進を図り、各種の講座等を開催し、学びながら楽しく子育てができる場の構築を図ります。						<b>B</b>	子育て支援係
③	病後児保育※や未満児保育及び一時保育等の充実を図るとともに、病児保育について研究するなど、子育てと仕事が安心してできる体制・施設整備を図ります。						<b>C</b>	子育て支援係
K P I ①	病後児保育施設利用者数（人）						子育て支援係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	1	—	—	—	—	<b>5</b>	<b>0%</b>	
実績		2	0					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子交流イベントとして、子育て支援センターの特別開放、「ファミリーコンサート」や「あきまつり」等のイベントを実施</li> <li>・連携協定を結ぶ長野県立大学との連携事業として「わくわく子育て講座」（全7回）を開催。</li> <li>・保護者の就労形態の多様化に伴う保育ニーズに対応するため、未満児保育、時間外保育、一時保育、土曜保育、病後児保育等、様々な保育サービスを実施しており、安心して子育てと仕事ができる環境・体制づくりを進めている。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠期の講座等については、母子保健セクションとの連携を強化することで、妊娠期におけるニーズを把握し、必要な講座等の開設とそのための環境・体制を整えていく必要がある。</li> <li>・親子で参加できる交流イベントは好評なことから、楽しく子育てに取り組む環境づくりとして子育て交流イベント等をさらに拡充していく。</li> <li>・長野県立大学との連携による、講座や取組の拡充を図っていくとともに、他の大学・教育機関等とも新たに連携を進めることで、子育ての多様な学びの場の確保を推進していく。</li> <li>・今後も保育サービス利用者の増加と保育ニーズの多様化が見込まれる状況にあるが、現状の保育サービスを継続・拡充していくには、保育士の確保が大きな課題となっているため、保育人材の確保育成を強化していくことが必要である。</li> <li>・病後児保育は利用実績が少ないことから、利用しやすい環境を整えていくとともに、病児保育にも対応可能な体制と環境整備について検討を進めていく。</li> </ul>							

施策3	女性の希望が叶う子育て環境づくりの推進						達成度評価	担当係等
①	父親の育児への参加を支援する研修や講座等を開催するなど、父親も子育ての楽しさが実感できる事業に取り組みます。						C	子育て支援係
②	多様な生き方を選択できる町を実現するため、事業所への啓発活動等により子育て世帯を中心に働き方の見直しを促進し、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現を図ります。						D	子育て支援係
③	就職に有利な資格や知識・能力を身に付けられる研修会の開催など、女性の職場復帰や再就職支援の充実を図ります。						B	子育て支援係
K P I ①	女性就業率（％）						子育て支援係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	58.3	—	—	—	—	65.0	89%	
実績		57.9	57.9					
K P I ②	支援を受けた者で就労（起業）できた者の数（累計）（人）						子育て支援係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	10	—	—	—	—	100	12%	
実績		11	12					
K P I ③	飯綱町ワークセンター新規登録者数（累計）（人）						子育て支援係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	50	—	—	—	—	100	140%	
実績		98	140					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イクメンパパ事業として「ファミリーコンサート」（参加家族：22組／父親8人）や「あきまつり」（参加家族：29組／父親15人）等を開催。</li> <li>・ワークセンター（iワーク）の取組として、スキルアップセミナー（女性のためのミライ図ワークショップ、チラシ制作講座など）、企業とのマッチングイベント（R5実績：1回）、求人情報の掲示等を実施。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イクメンパパ事業については、家族で楽しめるイベント的な内容だけでなく、父母を問わず育児について学べる講座等も実施しているが、父親の参加者がやや低調なことから、より参加しやすい開催内容と方法を検討していく。また、父親を対象とした子育てに関する研修・講座等についても、父親が参加しやすい教室等を企画するとともに、既存の子育て講座等への積極的な参加を促していく。</li> <li>・町内事業所等に対し、ワークライフバランスに関する情報・取組事例等について積極的に啓発を行っていくとともに、事業所と連携する中で、働き方改革やワークライフバランスの実証実験や支援施策の構築についても検討していくことが必要。</li> <li>・iワークを拠点に、スキルアップにつながるセミナー等を継続して開催していくとともに、県の女性就労センター等とも連携を図りながら、需要に応じた多様な研修機会等の提供を進めていく。また、無料職業紹介所としての機能と役割を拡充していくことで、就労支援の強化を図っていく。</li> </ul>							

第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】


分野5	安心・健康・福祉			
基本方針	共に支え合い誰もが安心して暮らすことのできるまちづくり			
政策2	誰もが安心していきいきと暮らすことができる社会の実現			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	保健福祉課介護支援係・福祉係			
課題と方針	<p>町民一人ひとりが自ら考え行動し、地域ぐるみで支え合う自助・互助・共助・公助※の確立を図る取組を推進します。</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少子高齢化に伴う福祉サービスの給付と負担のバランス確保</li> <li>・ 孤独死の防止やひとりで悩みや不安を抱え込ませない重層的な支援体制の構築</li> <li>・ 公的な福祉サービスの充実に加えた地域で支え合う体制づくり</li> </ul>			
行動目標	声をかけ、優しい地域の輪を広げよう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	IIZUNAであるきバスカード登録率<施策1>	16.1%	25.0%	
	65歳以上就業率<施策1>	47.2%	50.0%	
	いきいきサロン参加者数<施策3>	2,500人	7,000人	
	地区福祉学習会開催地区数・開催地区割合<施策3>	10地区・20%	50地区・100%	
	ふれあい広場参加者数<施策3>	0人	2,000人	
	地域福祉フォーラム参加者数<施策3>	100人	200人	
	住民 評価	高齢者が安心していきいきと暮らすことができる取組満足度<施策1>	26.8%	↑
		障がい者が自分らしく生活を送ることができる取組満足度<施策2>	20.8%	↑
		地域で支え合う福祉の体制づくり満足度<施策3>	20.8%	↑
周辺住民とは日頃から積極的にコミュニケーションをとっている		62.4%	↑	
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
<b>B</b>	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種の相談、教室、講座等の開催の充実化、地域で支え合う体制づくりに向けた機運の醸成。</li> <li>・ 地域活動支援センターによる自立支援等の実施、重層的支援体制整備の開始など。</li> </ul>			
A 順調 (目標以上に進捗)	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護専門職の人材不足及び公的支援サービスでは対応できない制度の狭間の発生など。</li> <li>・ スキルバンク等の設置、開設。</li> <li>・ 福祉サービスの利用希望に対応するための、サービス提供事業者の確保。</li> <li>・ 地域福祉活動を支える組織と人材の確保、育成。重層的支援体制整備の実効性の向上など。</li> </ul>			
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)	<p>&lt;方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な福祉サービス利用者が増加する中で、サービス提供に対応しきれない面もあることから、自助・互助・共助・公助の各側面の取組強化と適切な役割分担と連携を進めていく。</li> <li>・ 重層的支援体制整備事業と併せて多職種連携を図り、高齢者等や支援を必要とする方とその家族が望む生活が送れるように支援体制の強化を図っていく。</li> <li>・ 地域による支え合い活動の大切さ等について、様々な機会を捉えて啓発していくとともに、地域福祉活動を支える組織と人材の確保育成に向けた具体的な支援策等を講じていく。</li> </ul>			
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)				
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)				

施策1	高齢者が安心していきいきと暮らすことができる社会の実現						達成度評価	担当係等
①	全ての高齢者が安心して自立的に暮らすことができる環境を整備するため、地域包括支援センターを拠点として、介護や医療等の関係機関との連携強化を図り、高齢者の生活全般に関するあらゆる相談に対応できる体制（地域包括ケアシステム）を構築します。						B	介護支援係・包括支援センター
②	健康運動や栄養改善、口腔機能向上等の教室開催などフレイル予防をはじめとする介護予防の取組を推進します。						B	介護支援係・包括支援センター
③	認知症の方やその家族が安心して暮らせるよう、認知症の方を地域全体で支え見守る体制（ささえ愛ネットワーク）を拡充するなど、認知症の方へのきめ細かな対応を図ります。						B	介護支援係・包括支援センター
④	独居高齢者のあんしんサポートを行う相談窓口や体制づくりを検討します。						C	介護支援係・包括支援センター
⑤	高齢化社会を迎え、買い物困難者問題が深刻化しています。地域の支え合いによる「きめ細かな」地域交通や移動販売車の運行等について研究し、買い物困難を感じない地域への転換を図ります。						C	介護支援係/企画係
⑥	高齢者に対するバスの乗り方教室を開催するなど、IIZUNAであるきバスカードの利用促進に努めます。						B	介護支援係・包括支援センター
⑦	高齢者の経験とスキルを活かした社会活動とマッチングする仕組みを構築します。						B	福祉係
⑧	独居高齢者向け緊急通報装置などの見守り体制を強化します。						B	介護支援係・包括支援センター
K P I ①	IIZUNAであるきバスカード登録率<施策1>						介護支援係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	16.1	—	—	—	—	25.0	82%	
実績		19.3	20.4					
K P I ②	65歳以上就業率<施策1>						福祉係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	47.2	—	—	—	—	50.0	89%	
実績		44.7	44.7					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターを拠点とする「地域包括ケアシステム」による、生活全般に関する相談体制の強化。</li> <li>・お元気クラブ、すてきなおやじクラブ、いきいきサロン等の実施。</li> <li>・「ささえ愛ネットワーク」による見守り体制の整備。認知症支援の拡充（認知症SOSネットワーク事業、認知症高齢者等個人賠償責任保険事業、認知症ガイドブックの作成など）。</li> <li>・「つながり隊」による、あいさつや声かけ、見守り活動、相談窓口へつなげる活動等の実施。</li> <li>・高齢者を対象とした食事会、学習会、体力測定活動等の開催など。</li> <li>・IIZUNAであるきバスカードの利用促進（R5年度実績：登録者693人、登録率約20%、利用実績5,243件）。</li> <li>・iバスバスヘルパーによる移動支援、緊急通報装置の設置、災害時要援護者台帳の整備等。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談窓口としての地域包括支援センター（「地域包括ケアシステム」）の積極的な活用と地域包括ケアマネジメントの構築を推進していく。</li> <li>・介護専門職の人材不足や公的支援サービスでは対応できない制度の狭間が生じていること等が課題となっているため、引き続き関係機関が一体となって体制整備を図っていくことが急務である。</li> <li>・引き続き「通いの場」を中心とした、介護予防やフレイル対策（運動・口腔・栄養等）の取組を強化するとともに、健康推進部門と連携し、生活習慣病予防や重症化予防の取組を包括的に展開する体制を整備していく。</li> <li>・認知症対策支援として、GPS装置など新たなサービスについて調査研究を進めていくとともに、地域全体で支える見守り体制について更に強化を図っていく。</li> <li>・経験やスキルを持つ高齢者の活躍を促し、社会活動等への参画機会を増やしていくため、スキルバンク等の開設によるマッチングシステムの構築等について検討していく。</li> <li>・自力での避難行動が難しい方々を対象とした「個別避難計画」の策定を進めるとともに、緊急通報装置の設置やICTを活用した見守りシステムの度入など、設備面からの見守り体制も引き続き強化していく。</li> <li>・移動販売車やデマンドバス等に加え、高齢者のニーズを的確に把握するなかで、新たな交通移動手段の仕組み等についても検討していく必要がある。</li> </ul>							

施策2	障がい者が自分らしく生活を送ることができる社会の実現	達成度評価	担当係等
①	障がい者への理解を深めるため、学習会や交流会等の充実を図り、心のバリアフリーを促進します。	B	福祉係
②	地域で自立した生活を送ることができるよう、誰でも気軽に相談できる仕組みを充実させ、全ての人に必要な支援（就労、日常生活用具の給付、外出時の移動などの支援）が行き渡る体制づくりに努めます。	B	福祉係
③	発達障がいがある子やその家族の相談に応じる発達支援室を設置し、保健・福祉・教育が連携しながら、早い時期から継続的で専門的な支援を行います。	C	総務教育係/こども保育係/子育て支援係/福祉係/健康推進係
K P I ①	対応するKPIは住民評価指標のため、次期総合計画策定時に検証・評価		
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいへの理解を深める学習会（あいサポート研修、地域福祉フォーラム、福祉啓発研修）等の開催。</li> <li>・相談支援事業所への相談事業の委託により、相談体制の整備と強化を促進（R5相談延件数：183件）</li> <li>・障がい児を対象とした療育から就労支援までを含めた相談と支援の実施。</li> <li>・日常生活用具給付（R5実績：333件）</li> <li>・地域活動支援センター（R5実績：登録者数49名/延利用者人数1,216人）による、自立支援等の実施。</li> <li>・子育て支援センター保育士による乳幼児期からの子育て相談、5歳児相談事業、支援会議等の実施など。</li> </ul>		
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等		
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的に実施している障がいへの理解を深める学習会・研修等を引き続き実施していくとともに、新たな学習の場や交流機会等について企画していく。</li> <li>・地域活動支援センターは、支援が手薄となっている若者層（15～20代）に対する相談サポートが重要なため、支援の必要な若者が積極的にセンターを利用できるよう、環境整備や体制の充実を図っていく必要がある。また、地域の事業（移動支援、福祉有償運送サービス、タイムケア等）や児童福祉サービスの利用希望者が増加している一方で、提供可能な量を超えている実態もあるため、サービス利用者の全体量の見直しやサービス提供事業者の確保が課題となっている。</li> <li>・重層的、横断的な支援機能としての「発達支援室」の開設に向けては、現状の状況把握、課題整理を進めるとともに、その必要性の可否も含めて再検討していく。</li> </ul>		

施策3	地域で支え合う福祉の体制づくりの推進						達成度評価	担当係等
①	地域での福祉活動を推進する組織の充実や人材の育成などを支援し、地域の支え合い活動を促進します。						C	福祉係
②	高齢者や障がい者等の権利擁護を図るため、児童福祉制度や障がい者福祉制度、成年後見制度などの各種福祉制度の周知を行います。						B	福祉係
③	重層的支援体制整備事業の実施に向けて、介護、障がい、子ども、ひきこもりなどの相談支援等に取り組むことで、本人が安心して社会参加できるよう支援します。						B	福祉係
K P I ①	いきいきサロン参加者数（人）						福祉係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	2,500	—	—	—	—	7,000	50%	
実績		2,318	3,471					
K P I ②	地区福祉学習会開催地区数・開催地区割合（％）						福祉係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	10・20%	—	—	—	—	50・100%	22%	
実績		9・18%	11・22%					
K P I ③	ふれあい広場参加者数（人）						福祉係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	0	—	—	—	—	2,000	23%	
実績		350	450					
K P I ④	地域福祉フォーラム参加者数（人）						福祉係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	100	—	—	—	—	200	57%	
実績		95	113					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい広場、福祉フォーラム等の交流イベントや啓発活動の実施。</li> <li>・「いきいきサロン（R5新規立ち上げ1地区・計35地区）や「地区福祉学習会（11地区で実施）」等を通じて、福祉活動組織の充実と人材育成を推進。</li> <li>・相談内容に応じて各種制度について周知を実施（R5年度の成年後見制度相談実績：19件）</li> <li>・重層的支援体制整備事業が本格的にスタートし、庁内の連携体制づくりをはじめ、事業所、公的関係機関、病院等との連携体制づくりの強化を推進。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での活動が縮小し地域のつながりも薄れつつあることから、改めて地域による支え合い活動の大切さ等について、様々な機会を捉えて啓発していく必要がある。また、人口減少が進む中で、地域福祉活動を支える組織・人材は益々重要な存在になっていることから、組織・人材の確保育成に向けた具体的な支援策を講じていくことが要である。</li> <li>・社会福祉協議会が法人後見として成年後見等を受任し、権利擁護の適切な支援を行う体制を整備しているが、今後も権利擁護についての支援ニーズは増えていくことが見込まれることから、長野市成年後見センターとの連携・相談体制の強化を進めていくとともに、権利擁護の内容に応じた支援制度の周知徹底と町の支援体制づくりを進めていく必要がある。</li> <li>・重層的支援体制の実効性を高め、支援体制を確立していくために、引き続き関係機関との協働体制の強化を図ながら、体制整備を進めていくことが必要である。</li> </ul>							


第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】

分野5	安心・健康・福祉			
基本方針	共に支え合い誰もが安心して暮らすことのできるまちづくり			
政策3	安心して暮らせる健康づくりの推進			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	保健福祉課健康推進係／飯綱病院			
課題と方針	<p>全ての町民が健康長寿で豊かな人生を送ることができる活力ある町を目指し、関係機関と連携した健康づくり活動の推進と適切な支援を行います。</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス等感染症対策</li> <li>・医療や介護にかかる負担の抑制</li> <li>・妊娠期から子育て期にわたる健康相談や関係機関と連携したきめ細かな支援</li> <li>・生活習慣病の予防</li> <li>・地域医療を支える飯綱病院の必要な医療スタッフの確保</li> </ul>			
行動目標	食事、運動、睡眠…できることから楽しく、健康づくりに取り組もう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	飯綱町総合健診受診者数<施策1>	324人	370人	
	特定健診受診率<施策1>	31.2%	55.0%	
	ゲートキーパー養成講座の受講者数<施策1>	71人	320人	
	フレイルチェックの実施数<施策1>	0人	300人	
	健康寿命<施策1>	男：80.2歳/女：84.0歳	0.5歳以上の延伸	
	医師の充足率<施策2>	75.0%	80.0%	
	住民 評価	みんながいきいきできる健康づくり満足度<施策1>	36.9%	↑
		地域に愛される病院づくり満足度<施策2>	32.1%	↑
		食事、運動、睡眠など意識して健康づくりに取り組んでいる	73.7%	↑
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
A 順調 (目標以上に進捗)	B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康維持と増進に向けた様々な講座等の開催や相談体制の拡充等による、意識の醸成と促進。</li> <li>・特定健診未受診者への対策や検診後の丁寧なフィードバック対応による生活習慣病予防等の推進。</li> <li>・重層的支援体制整備事業等の開始による、相談・支援体制の構築や環境整備が促進。</li> <li>・飯綱病院の医療体制の維持及び充実、病院経営改革プランに基づく改善着手 など</li> </ul>		
		<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の健康課題に応じた健康推進等の取組体制の強化、専門的人材の安定確保など。</li> <li>・重層的支線体制整備の強化。</li> <li>・飯綱病院の経営の安定化、医療スタッフの安定確保。</li> </ul>		
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)	D 遅れている (目標の5割以下の進捗)	<p>&lt;方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・潜在的な要支援者を含め心の健康に不安を抱える人が増加傾向にあることから、相談体制の充実に加えて、アウトリーチ支援についての体制整備を進める必要がある。</li> <li>・重層的支援体制整備事業による包括的な支援体制を、引き続き強化・確立していく。</li> <li>・個に応じたきめ細やかな健康増進支援を強化し、町民の健康と安心を支えていく体制づくりを進める。</li> <li>・飯綱病院の安定的な医療サービスの提供と経営の安定化に向け、医療スタッフの確保、受入体制の整備等を強化するとともに、施設の改修計画を策定し計画的に施設整備を進めていく。</li> </ul>		

施策1	健康の保持・増進の支援						達成度評価	担当係等
①	食習慣や運動習慣の改善に関する講座等を通じて、町民の健康づくりに対する意識の高揚を図ります。						B	健康推進係
②	がん・生活習慣病等の早期発見・早期治療のため、検診の必要性をわかりやすく説明するなど受診勧奨等を積極的に行い、受診率の向上に努めます。						B	健康推進係
③	特定健診、町民健診を受診された方に個別面談にて健診結果を伝え、生活習慣病の発症、重症化を予防します。						B	健康推進係
④	親と子が心身ともに健やかに過ごせるよう、子どもの健康等に関する母親の一人ひとりの悩みに親身に寄り添う相談体制を構築するなど、きめ細かな母子保健事業を進めます。						B	健康推進係
⑤	幼少期から健康的な生活習慣を身に付けるため、関係団体と連携し、食育を推進します。						B	健康推進係
⑥	健康器具を導入し、一人ひとりの健康状態に合わせて適切に利用するなど、高齢者などの健康増進に向けた地域・団体の主体的な取組を支援します。						A	福祉係
⑦	心の病気の予防・早期治療を図るため、相談できる時間を十分に確保するなど、心の健康に不安を感じている人やその家族がいつでも気軽に相談できる体制の構築を目指します。						B	健康推進係
⑧	ゲートキーパーを養成するなど、自殺予防のための体制づくりを図ります。						C	健康推進係
⑨	ライフステージに合った健康増進活動とコミュニティづくりで、フレイル予防の推進を図ります。						B	健康推進係
K P I ①	飯綱町総合健診受診者数（人）						健康推進係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	324	—	—	—	—	370	81%	
実績		342	301					
K P I ②	特定健診受診率（%）						健康推進係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	31.2	—	—	—	—	55.0	78%	
実績		46.0	42.6					
K P I ③	ゲートキーパー養成講座の受講者数（人）						健康推進係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	71	—	—	—	—	320	18%	
実績		169	59					
K P I ④	フレイルチェックの実施数（人）						健康推進係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	0	—	—	—	—	300	0%	
実績		0	0					
K P I ⑤	健康寿命(平均自立期間)（歳）						健康推進係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	男：80.2歳 女：84.0歳	—	—	—	—	0.5歳以上延伸	男:100% 女:80%	
実績		男81.4/女84.9	男80.7/女84.4					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食や運動習慣に関する様々な講座等を実施し意識の高揚を促進。</li> <li>・検診未受診者への各種対策により受診率の向上を促進。個別訪問による保健指導など丁寧なフィードバックと指導対応により生活習慣病予防の徹底を推進。</li> <li>・各種母子相談により、悩みに寄り添った細やかな対応の実施。食のサポートの会による食育の推進</li> <li>・活動量計の購入費補助の実施等により個々にあった健康増進の取組を支援。</li> <li>・心の健康相談会の開催、「こころの体温計（メンタルセルフチェックシステム）」の運用。</li> <li>・ゲートキーパー養成講座を開催し自殺予防の体制づくりを推進。</li> <li>・食事やフレイル予防についての健康講話の実施など。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診未受診者対策対策を拡充・強化していく。</li> <li>・きめ細やかな母子保健事業を進めるため、相談の場の拡充や関係部署との連携強化を図っていく。</li> <li>・パワーリハビリは、健康の維持・増進ツールとして利用が定着してきていることから、個々のニーズや状況に応じた丁寧な指導を継続するとともに、新たな健康器具等の導入も検討していく。</li> <li>・心の病や心の健康に不安を抱える人の増加は社会的な課題ともなっているため、相談体制等の更なる強化を図るとともに、アウトリーチ支援についても検討・強化していく。</li> <li>・ゲートキーパー養成講座等の普及啓発や、重層的支援体制整備事業により自殺予防対策を強化していく。</li> <li>・地域の集まりやコミュニティに参加することがフレイル予防としても有効なことから、社会参加を促していく取組等を更に進めていく。</li> </ul>							

施策2	飯綱病院の医療体制の充実						達成度評価	担当係等
①	現在の診療科目16科を維持し、一次救急から二次救急による医療の提供及び救急告示病院として、24時間365日、町民の健康と命を守るため安心と信頼の医療を提供します。						A	飯綱病院
②	医療スタッフの充実を図るとともに、計画的な設備の更新を行うなど、病院事業の経営の安定化・健全化に努めます。						A	飯綱病院
③	市中病院では対応しにくい慢性期医療や療養病床での医療の実施、一方では急性期医療及び透析医療を実施し、安定的に継続して良質な医療を提供します。						A	飯綱病院
④	町の「保健・医療・福祉」の連携の拠点として、町民の疾病予防、健診、医療相談、認知症予防、子育て世代支援施設への協力等の活動を行います。						A	飯綱病院
⑤	災害等が発生した場合は、地域の災害医療拠点病院として被災者への医療を担います。						A	飯綱病院
K P I ①	医師の充足率 (%)						飯綱病院	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	75.0	—	—	—	—	80.0	131%	
実績		92.1	104.7					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域病院として信頼される医療体制の確保（R5年度実績：外来患者延数69,437人／入院患者延数32,354人／救急車受入件数420件／時間外患者数1,481人）。</li> <li>・令和5年度は非常勤医師1名を採用し、経営の安定化等に向けスタッフの充実を図っている。また、医療機器については計画的に整備を実施。</li> <li>・飯綱病院経営強化プランを策定し、健全経営に向けた体制整備を促進。</li> <li>・慢性期医療や療養病床での医療サービスの提供、急性期医療や透析医療の受け入れ態勢の拡充を図るとともに、安定的・継続的な良質な医療提供を確保（R5年度実績：療養病床30床・透析延人数4,443人）。</li> <li>・総合健診、特定健診、地域医療連携室相談、保育園・小中学校等における各種健診への医師派遣を実施。</li> <li>・災害発生時の様々なケースを想定した訓練等を定期的に行い、被災者医療についての体制整備を促進。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R5年度策定の「飯綱病院経営強化プラン」に基づき、地域に信頼される医療提供体制の確保と健全経営に向けた体制強化を図っていく。</li> <li>・地域包括ケア病床の新設を含む病棟の再編等により、患者数の確保と安定経営に努めていく。</li> <li>・老朽化が進む病院施設については、令和6年度に劣化度調査の実施及び修繕計画等の策定を予定。修繕計画等に基づき計画的に改修整備を進めていく。</li> <li>・地域のニーズに沿った安定的・継続的な医療サービスを更に充実させていくため、医療スタッフの確保、受入体制の整備等を引き続き強化していく必要がある。</li> <li>・今後も町の「保健・医療・福祉」の連携拠点として、町担当部局との連携を強化し、町民の健康と命を守る中核としての活動を推進していく。</li> </ul>							
施策3	新型コロナウイルス等感染症の予防と対策						達成度評価	担当係等
①	緊急的な感染症対策には、迅速かつ総力を挙げて対応し、町民の生命及び健康を守るため感染予防に努めます。						B	飯綱病院／健康推進係
K P I	対応するK P Iなし							
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R5年度はオミクロン株XBB1.5対応1価ワクチンの予防接種を実施（延接種者数：6,720人）</li> <li>・発熱外来の設置対応の他、集団接種に医師・看護師を派遣。病院でのワクチン個別接種の実施。</li> <li>・通常病床での入院患者の受入（入院実人数74人、日数1,044日）。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者を対象とした定期予防接種が円滑に進むよう準備を進めていく。</li> <li>・引き続き感染対策を徹底するとともに、病棟内において感染が拡大しないよう対応していく。</li> </ul>							


第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】

分野5	安心・健康・福祉			
基本方針	共に支え合い誰もが安心して暮らすことのできるまちづくり			
政策4	拠点をつなぐ交通ネットワークの充実			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	企画課企画係			
課題と方針	<p>多様な公共交通機関の有機的な連携を図り、町民の日常生活を支える、効率的で持続可能な交通体系を構築します。</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物など町内の移動のしやすさの向上</li> <li>・バス路線維持のための事業費増大への対応（利用者の確保）</li> <li>・高齢化の進展に伴う交通弱者の増加への対応</li> </ul>			
行動目標	積極的に公共交通を利用し、生活の足をみんなで守ろう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	1日当たりのiバスの平均利用者数<施策1>	89人	210人	
	1日当たりの牟礼駅の平均乗降者数<施策2>	992人	1,450人	
	住民 評価	身近で親しまれる公共交通の仕組みづくり満足度<施策1>	26.0%	↑
		利用しやすい交通環境の構築の取組満足度<施策2>	34.6%	↑
		積極的に公共交通（鉄道やバス）を利用している	15.2%	↑
		牟礼駅前が整備され、利便性が向上している	44.1%	↑
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
A 順調 (目標以上に進捗) B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗) C やや遅れている (目標の5～7割の進捗) D 遅れている (目標の5割以下の進捗)	C	<成果>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事業者、関係機関等との連携による公共交通網の維持。</li> <li>・利便性の向上に向けたiバス運行の見直し等（R6年度のフルデマンド化の導入など）が進捗。</li> <li>・タクシー運行の確保やライドシェア等の新たな移動手段の構築などについて本格的な検討を開始。</li> </ul>		
		<課題>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通の利用者数増加に向けた具体的な方策や新たな仕組みの構築。</li> <li>・交通事業者の運転手不足等への対応。</li> <li>・夜間や休日等の移動手段の確保と充実、利便性の高い地域間移動の運行体制づくりなど。</li> </ul>		
		<方向性>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・R6年度からiバス運行のフルデマンド化を予定するとともに、高齢交通弱者の増加に備え、より効率的で利便性の高い「地域の足」を確保するため、タクシー事業者の確保や自家用有償運送等の導入など、既存公共交通を補完する新たな仕組みの導入を進めていく。</li> <li>・鉄道の利便性とサービス向上、牟礼駅の一層の環境整備など、利用者増に向けた様々な施策を進めていくことで、鉄道の維持・存続を図っていく。</li> <li>・人口減少が進む中で、公共交通の利用者も更に減少が見込まれることから、地域間移動や夜間・休日移動の利便性を高めていくとともに、持続可能な交通体系づくりに向けて、多様な移動手段を有機的に組み合わせしていくなど、町独自の新たな交通網の構築について検討していく。</li> </ul>		

施策1	身近で親しまれる公共交通の構築						達成度評価	担当係等
①	北しなの線の設備等の整備を支援するとともに、関係機関と連携し、イベント列車を運行するなど、鉄道の利便性の向上と利用の促進を図ります。						C	企画係
②	路線バスやデマンドバスと鉄道の連携を強化するなど、公共交通の効率的な運行体制の構築を図ります。						C	企画係
③	住民生活に欠かせない交通手段を確保するため、拠点施設と地域を結ぶバスなどの移動手段の整備と利便性の向上に努めます。						C	企画係
④	地域や交通事業者、関係機関などと連携し、地域公共交通網の維持・確保のための検討や取組を進めます。						B	企画係
⑤	公共交通機関の重要性・必要性の理解・周知を促します。						C	企画係
K P I	1日当たりのiバスの平均利用者数						企画係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	89	—	—	—	—	210	45%	
実績		95	94					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車両更新他、しなの鉄道施設整備に対するしなの鉄道への補助金交付支援。</li> <li>・関連団体等と協働による牟礼駅前清掃、花壇整備等の実施。イベント列車「SR1で軽井沢へ行こう！」の運行、北しなの線沿線自治体との連携によるオリジナルデザインフリー切符の制作や沿線駅での利用促進イベントの実施。</li> <li>・バス（定時定路線・デマンドワゴン・バスコネク）の運行（R5年度実績：定時定路線1日当たり利用者数56.9人／デマンド1日当たり利用者数38.0人／バスコネク利用者数677人）</li> <li>・飯綱町地域公共交通会議、飯綱町しなの鉄道活性化協議会、北しなの線運営協議会、牟礼駅マイレール応援団等による利用促進と維持確保に向けた検討及び活動の実施。</li> <li>・利用促進の機運を高めるため、関係機関や協議会等を中心とした各種活動や取組の実施により、公共交通機関の重要性と必要性を啓発。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連団体等との連携による継続的な取組（駅前・駅周辺環境整備、イベント列車、駅前イベントの実施等）は、鉄道利用のきっかけにもなっており、一定の成果が見られるが、更に利用促進効果が得られるよう、新たな取組等についても検討していく。</li> <li>・高校生等からの意見を踏まえ、利用者のサービス向上の一環で、令和6年度に牟礼駅にWi-Fi設置を予定。</li> <li>・人口減少に伴い、鉄道利用者は更に減少することが危惧されるため、鉄道利用者を増やしていくための方策を多角的に検討し、新しい施策・事業化を図っていく必要がある。</li> <li>・バスと鉄道の時刻表の改定期が異なり、接続が悪いケースも見られることから、事業者間の連携強化等に適切に努めていく。</li> <li>・バス利用者の減少が進んでいることから、R6年度からのiバス運行体制の抜本的な見直しを予定。具体的には、日中デマンドの「フルデマンド化」を柱に、効率的で利便性の高い運行体制を構築していく。また、夜間のタクシー不足を解消するため、タクシー運行に対する補助制度を創設し、夜間タクシーの確保等を進めていく。</li> <li>・関係機関との連携による公共交通の維持に向けた継続的な検討と取組は、公共交通の利用促進のきっかけとなっており、一定の成果につながっている。公共交通の維持と利用者増に向けた方策を引き続き多角的に検討し、多様な取組を進めていく。</li> <li>・関係団体等を中心に利用促進の活動や取組を進めているが、公共交通の重要性を町民に広く周知し理解を深めてもらう観点から、町民を対象とした定期的な啓発シンポジウム等の開催や、広報紙等を通じた情報発信、町民参加型の利用促進活動等の展開等について、検討していく。</li> </ul>							

施策2	利用しやすい交通環境の構築						達成度評価	担当係等
①	牟礼駅のバリアフリー化を促進し、利用しやすい駅を目指します。						<b>D</b>	企画係
②	交通事業者等と連携し、日常生活用品の買い物など、交通弱者の不便を解消する仕組みづくりを推進します。						<b>C</b>	企画係
K P I	1日当たりの牟礼駅の平均乗降者数						企画係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	992	—	—	—	—	<b>1,450</b>	<b>65%</b>	
実績		1,011	947					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運転免許証自主返納者に対する返納後の公共交通利用による移動支援の実施。</li> <li>・ iバスヘルパー事業の実施など。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
<b>C</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ しなの鉄道の厳しい経営事情もあり、バリアフリー化（車両とホームの段差解消・上りホームへの階段対策）の見通しは立たない状況にある。利用しやすい駅を目指すためにも、しなの鉄道に対して早期改善要望を強く要請していくとともに、町の支援策（財政支援等）も検討していく。</li> <li>・ 公共交通利用者の利便性の向上を図るため、バスについてはR7年3月にSuica機能を付加した新たな「バス共通ICカード（KURURUカードリニューアル）」の導入が決定している他、R8年3月には、しなの鉄道でもSuicaの導入が予定されていることから、各事業者との連携強化を引き続き進めていく中で、公共交通の利用促進と利用しやすい環境整備を図っていく。</li> <li>・ 交通弱者の不便解消に向けては、移動販売車やスマートグラスを活用した買い物支援等の取組を継続するとともに、ライドシェア等の新たな仕組みづくりについて検討・研究を進めていく。</li> </ul>							


第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】

分野6	移住・交流		
基本方針	移住定住と多様な交流による地域活性化		
政策1	移住・定住の推進		
関連するSDGs			
主な担当課・担当係	企画課人口増推進室／建設水道課維持管理係		
課題と方針	<p>二地域居住やワーケーションなど多様な暮らし方・働き方を受け入れて、関係人口や交流人口を増やしながら、移住・定住につなげます。</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住に伴う経済的負担や様々なリスクを軽減できる仕組みづくり</li> <li>・空き家等の有効活用も含め、移住希望者のニーズに応じた住居の供給・確保</li> <li>・良好な自然環境や歴史・文化、風土を支える基盤となる集落の維持・継承</li> <li>・新たなライフスタイルやワークスタイルを受け入れられる仕組みや体制づくり</li> </ul>		
行動目標	移住者や来訪者との交流を深め、地域と関わる場や機会をつくろう！		
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)
	社会増減数<施策1>	▲69人	±0人
	転入者数<施策1>	221人	310人
	空き家バンク登録物件成約数(累計)<施策1>	6件	50件
	町営住宅等整備数<施策2>	65戸	73戸
	ワーケーション等のイベント実施回数<施策3>	3回	3回以上
	住民評価	住み良いまちと感じる人の割合	66.6%
	移住を増やす取組満足度<施策1>	18.1%	30.0%
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等		
<b>B</b>	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種補助をはじめ、総合的な移住支援施策の展開により、転入者や移住者増に一定の成果。</li> <li>・普光寺焚荒地区への町営住宅整備、空き家の掘起こしと流動化の促進、移住ツアー等による移住者の獲得</li> <li>・アグリスポーツワーケーションなど特徴的なワーケーションの仕組みと体制整備の促進</li> </ul>		
A 順調 (目標以上に進捗)	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住ニーズに対する、住居の不足。活用可能な空き家や空地等の更なる掘起こしと流動化。</li> <li>・二地域居住やワーケーション等の活用企業等の誘致と受入体制整備の強化。</li> <li>・集落の維持と活性化に向けた関係人口創出の具体的な仕組みづくり、取組の促進など。</li> </ul>		
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)	<p>&lt;方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住希望者のニーズに合った住宅が不足していることから、需要に合わせて引き続き計画的に整備を進めていくとともに、空き家活用や民間活用を更に促進させていく。</li> <li>・関係人口の創出と拡大を目指し、都市部企業等にワーケーションによる二地域居住先として選択されるよう、移手段、宿泊場所、教育・保育機会の確保など、受入環境の整備を進めていく。</li> <li>・体験ツアー等の内容の改良や拡充を進めるとともに、集落との協働による取り組みを促進していくことで、町ぐるみによる関係人口等の受入体制を確立していく。</li> </ul>		
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)			
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)			

施策1	試住・移住・定住の支援						達成度評価	担当係等
①	移住専門員を配置するなど、総合的な移住サポート体制を構築します。						<b>B</b>	人口増推進室
②	移住希望者の経済的負担を軽減するため、ニーズに沿った支援制度を整備します。						<b>B</b>	人口増推進室
③	移住希望者の経済的負担を軽減するため、ニーズに沿った支援制度を整備します。						<b>B</b>	人口増推進室
④	移住体験ツアーの実施や移住体験用住宅の整備により、町の魅力を知ってもらうための試住を推進します。						<b>B</b>	人口増推進室
KPI①	社会増減数（人）						人口増推進室	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	▲69	—	—	—	—	±0	<b>52%</b>	
実績	▲41	▲33						
KPI②	転入者数（人）						人口増推進室	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	221	—	—	—	—	310	<b>81%</b>	
実績	244	252						
KPI③	空き家バンク登録物件成約数（累計）（件）						人口増推進室	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	6	—	—	—	—	50	<b>44%</b>	
実績	13	22						
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住サポーター制度により、移住希望者の相談対応や移住者交流会の実施など移住支援体制を強化。</li> <li>・民間賃貸住宅等建設補助金（1件）、移住定住促進中古住宅等購入補助金（10件）、移住定住応援リフォーム補助金（9件）、移住定住応援家賃助成金（27件）、ひとり親世帯家賃助成金（21件）、空き家家具道具等処分支援補助事業（4件）等各種の助成制度による、移住者等の経済的負担軽減の実施。</li> <li>・移住定住支援サイトを活用した移住者への住まいや仕事のマッチングとして8社の企業インタビュー記事をサイトに掲載し、企業情報の提供を促進。</li> <li>・地域おこし協力隊員による、空き家の掘起しのための所有者への意向調査や、固定資産税納税通知書へのPRチラシ（「空き家情報をお寄せください」）の同封（約8,000通）など、空き家の流動化と利活用の取組を強化。</li> <li>・「独身の若者」や「就農希望者」をターゲットとした移住体験ツアーの実施（R5実績：2回・参加者6名）。</li> <li>・移住体験用住宅の運営（R5利用実績：108日間・295名の利用）。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住サポーターによる、リアルな移住経験談や移住後の生活実態等を移住相談者に伝える機会を今後も増やしていくことで、移住相談だけでなく移住後の伴奏支援を含めた総合的なサポート体制を構築していく。</li> <li>・中古住宅の購入や賃貸住宅等の費用に対する支援をはじめとする様々な支援の展開により、移住者増に一定の成果が得られている。今後は、Uターン就業・創業移住支援事業補助金の利活用を更に推進していく</li> <li>他、住宅建設・購入等の借入資金等に対する支援の検討など、ニーズや情勢等を踏まえて多様な支援制度を整備していく。</li> <li>・空き家の掘起こしや流動化に向けては、実施した意向調査結果をもとに所有者にアプローチするとともに、引き続き多様な方法で空き家情報の収集を図っていく。また、移住希望者のニーズに対応するための体制強化を引き続き進めていく。</li> <li>・令和5年度に実施した移住体験ツアー参加者は6名と少なかったものの、参加者が移住に結び付く成果があった。引き続きツアー内容を工夫し、特色のあるツアーを継続的に実施していく。また、移住体験住宅利用者を移住に結び付けるための支援を継続的に実施していくことが必要である。</li> </ul>							

施策2	町営住宅等の整備						達成度評価	担当係等
①	賃貸住宅不足を解消するため、若者住宅（定住促進住宅）を計画的に整備し、移住者・定住者の増加を図ります。						A	維持管理係
②	不足する賃貸住宅の供給を促進するため、民間力を活用した賃貸住宅の建設を支援します。						A	人口増推進室 ／維持管理係
K P I	町営住宅等整備数（戸）						維持管理係	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	65	—	—	—	—	73	95%	
実績		67	69					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ R4年度より3か年計画で普光寺焚荒地区に4棟（8世帯）の若者住宅を整備中。R5年度は1棟2戸を整備</li> <li>・ 民間賃貸住宅等建設補助金により、民間の賃貸住宅建設を支援（R5実績：1件・150万円×8戸 1,200万円を補助）</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和6年度において、普光寺焚荒地区に2棟4戸を建設予定。移住希望者のニーズに合った住宅が不足していることから、需要に合わせて引き続き計画的に整備を進めていく必要がある。また、住宅整備に関しては行政主導だけでなく、民間との連携による賃貸住宅整備（民間への補助等）や空き家活用による住宅整備など、多様な形態での住居整備を推進していく。</li> <li>・ 民間賃貸住宅建設支援制度により、住宅供給不足に対して一定の成果が得られている。今後も同補助金の活用を促進するとともに、空き家活用等による住宅整備支援等の施策についても検討し、民間力の更なる活用支援を図っていく。</li> </ul>							
施策3	関係人口の創出・拡大						達成度評価	担当係等
①	二地域居住など多様な暮らし方・働き方を支援します。						C	人口増推進室
②	首都圏等からのワーケーションを積極的に受け入れ、関係人口や交流人口の創出と拡大を図ります。						B	人口増推進室
③	各集落で実施する関係人口創出事業を支援します。						C	地域振興係/ 人口増推進室
K P I	ワーケーション等のイベント実施回数（回）						人口増推進室	
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	3	—	—	—	—	3回以上	100%	
実績		3	3					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワーケーションの実証と誘致の取組を実施（R5実績：アグリスポーツワーケーションの実証3回/参加者49名）。</li> <li>・ 集落創生事業等を通じた、各集落の取組に対する支援の実施。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会情勢を踏まえる中で、引き続きワーケーションによる二地域居住の取組を推進していく。継続的な取組みとしてワーケーションを展開するには、移動手段、宿泊場所、教育・保育機会の確保等に課題があることから、受入体制の整備を具体的に進めていくことが必要。</li> <li>・ R5年度に実施したアグリスポーツワーケーションの実証では、飯綱町おける可能性や潜在力の高さが認識できたことから、都市部企業等の健康経営メニューや研修等で活用してもらえよう、プログラム内容等の整備を図り活用企業の誘致を進めていく。</li> <li>・ 各集落に対し集落創生事業等を活用した関係人口の創出の取組を促していくとともに、関係人口創出の様々な事業について、各集落と協働で試験的に取り組んでいく体制づくりを進めていく。</li> </ul>							


第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】

分野6	移住・交流			
基本方針	移住定住と多様な交流による地域活性化			
政策2	都市との交流・国際交流の推進			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	企画課人口増推進室・地域振興係/産業観光課商工観光係・農政係			
課題と方針	<p>農業や農村体験等による都市住民の滞在型交流を通じて、飯綱町ファンを増やすとともに、インバウンド（訪日外国人旅行者）の受入れや国際交流を拡充して、多文化共生のまちづくりを推進します。</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市住民との恒常的な関係構築</li> <li>・首都圏における町の認知度の向上・魅力の発信</li> <li>・海外からの来訪者が快適に過ごせる環境づくり</li> <li>・観光情報や交通案内などの多言語対応</li> </ul>			
行動目標	都市とのつながりを大切に、町を超えた交流の輪を広げよう！ To the world from IIZUNA！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	農業体験等参加者数<施策1>	1,067人	2,500人	
	友好都市提携数<施策1、3>	0都市	1都市	
	町民団体が主催する国際交流推進事業数<施策3>	2事業	3事業	
	国際交流事業推進団体数<施策3>	1団体	2団体	
	住民評価	飯綱ファンを増やす取組満足度<施策1>	22.0%	↑
		世界で活躍する人材の育成満足度<施策2>	10.9%	↑
世界の人々を積極的に受け入れる満足度<施策3>		9.2%	↑	
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
C	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いいづなコネクトWESTの宿泊施設を活用したスポーツ合宿や企業研修の受入、いいづなりんご学校や農家民泊などを通じた都市との関係構築、など多様な都市交流の仕組みづくりが進捗。</li> <li>・首都圏、関西圏等での農産物販売等の機会拡大や継続的關係づくり、アンテナショップ的機能の構築等が進捗</li> <li>・スイス交流協議会との連携など、民間との協働による国際交流の取組機運の向上。</li> </ul>			
	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏住民や企業等との恒常的な関係構築、飯綱町ファン倶楽部の拡大など。</li> <li>・インバウンド対応やグローバル人材の育成等の取組が低調。</li> </ul>			
A 順調 (目標以上に進捗)	<p>&lt;方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏の交流ニーズに対応する多様な受入体制を構築するとともに、首都圏企業等に対して積極的に誘致営業をかけていくことで、来訪者を増やしていく。</li> </ul>			
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飯綱町ファン倶楽部会員数が低調なことから、町を応援する方との新たな関係づくりの仕組みを創設するなど、制度内容等の見直しや改良を図っていくことが必要。</li> </ul>			
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏等でこれまででに關係を構築してきた事業者等との連携を更に深めていくとともに、企業や大学等との交流機会を拡大していくなど、新たな都市交流先を積極的に開拓していく。</li> </ul>			
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インバウンド対応や国際交流事業の進捗は低調であるため、地域おこし協力隊や専門人材の活用などを進めることで、多文化共生のまちづくりやグローバル人材の育成等の取組を強化していく。</li> </ul>			

施策1	都市間交流の推進						達成度評価	担当係等
①	修学旅行や体験学習、企業研修、体験ツアー、ロケ地利用を積極的に受け入れるなど、町の魅力の認知度を高め、来訪者を増やすきっかけとなる取組を実施します。						B	地域振興係/人口増推進室/ 農政係/商工観光係
②	町を応援してくれる方に対し、定期的な観光・物産情報等の発信や多様な交流機会を創出するなど、恒常的な関係づくりに向けた取組を進めます。						C	商工観光係
③	首都圏において、町の農産物販売やライフスタイル提案等を担うアンテナショップ的機能を官民連携により構築するなど、都市交流の積極的な促進を図ります。						B	農政係
K P I ①	農業体験等参加者数（人）						農政係/商工観光係/地域振興係/人口増推進室	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	1,067	—	—	—	—	2,500	48%	
実績		1,073	1,187					
K P I ②	友好都市提携数（都市）						人口増推進室	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	0	—	—	—	—	1	0%	
実績		0	0					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いづなコネクトWESTの宿泊施設を活用したスポーツ合宿や企業研修等の受け入れを実施。</li> <li>・ 農業体験を主とした各プログラムの実施（りんご学校、農村体験事業、プレミアムりんごオーナー事業、ワーキングホリデー、農家民泊等）、独身若者や就農希望者をターゲットとした移住体験ツアー、アグリスポーツワーケーションの実施等。</li> <li>・ 飯綱町ファン倶楽部事業（町の観光・農産物・イベント情報等を会員に送付：R5会員数282名）、飯綱町観光サポーター事業（登録者にサポーター用名刺、パンフレット、イベント情報等を送付しPRを実施してもらう：R5サポーター登録者数12名）等。</li> <li>・ 首都圏及び北陸地方の百貨店等で農産物の販売や町の魅力発信等の取組などを実施。</li> <li>・ 関西圏の「あずさ珈琲」と連携し、店舗で継続的に町農産物の活用と販売を実施することで、関西圏のアンテナショップとしての役割・機能の強化と交流の拡大につながった。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和5年度の町への来訪者は基準値よりも増加傾向にあるが、目標数値を大きく下回っていることから、引き続き分野横断的な体験メニューや交流プログラムなどを展開し、町の認知度向上や来訪者増につなげていくことが必要。</li> <li>・ 首都圏においては今後も地方との交流ニーズ等が高くと考えられるため、町資源の再発掘とフル活用により、首都圏ニーズに応えていく受入体制を整えていくとともに、首都圏に対し健康経営などのための企業研修やスポーツ合宿等の誘致営業を積極的に仕掛けていくことで、来訪者を増やしていく。</li> <li>・ 飯綱町ファン倶楽部会員数は前年度よりも微増したものの、従前の水準までには達していない。会員活動の魅力の低下やインセンティブの不足等の要因が考えられるが、関係づくりを恒常的なものとし、更にファンを増やしていくためにも、町を応援する方との関係づくりと本制度については、見直しを図っていくことが必要である。</li> <li>・ 農産物の販路開拓やPR通して、都市圏との交流が生まれ始めているが、十分な成果にまでは至っていない。今後は、「あずさ珈琲」との取組を好例に、これまでに関係を築いてきた事業者との連携を深めていくことで、継続的な関係性や販路先を確保し、首都圏における官民連携によるアンテナショップ機能を確立していく。また、りんご学校参加者による都市部でのマルシェ実施や、都市部企業と連携した販売等を進める他、農泊事業等で関係構築を進めてきた首都圏の学校等の教育機関とも協力しながら、町農産物の更なるPRと新たな販売先の開拓などを手掛けていく。</li> </ul>							

施策2	世界で活躍できる人材の育成						達成度評価	担当係等
①	異文化に触れる学習機会を提供するなど、次世代を担う子どもたちの国際理解を深める教育の充実を図ります。						<b>D</b>	総務教育係
K P I	対応するKPIは住民評価指標のため、次期総合計画策定時に検証・評価							
主な実施事業	・ALT（外国語指導助手）の配置等による、グローバル化に対応した教育の推進。							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
<b>D</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際理解を深め、世界的視野を育成できるような町独自のグローバル教育の在り方等について、研究していくことを検討。</li> <li>飯綱町スイス交流協議会を中心に、子どもたちがスイス文化に触れる機会を学校教育の学習題材等として提供できる取組などについて、教育委員会と連携しながら検討していく。</li> </ul>							
施策3	国際交流の推進						達成度評価	担当係等
①	海外の都市との友好都市提携を検討するなど国際交流活動を推進します。						<b>B</b>	人口増推進室
②	国際交流事業を進める団体等を支援します。						<b>A</b>	人口増推進室
③	他市町村との連携により、海外との交流を進めます。						<b>D</b>	人口増推進室
④	ホームページや看板等において町の情報を様々な言語で表示するとともに、同時通訳機の導入など、多文化共生社会の実現を推進します。						<b>D</b>	人口増推進室/ 商工観光係
⑤	インバウンドを含め、地域経済の視点に立って国際交流を推進します。						<b>C</b>	人口増推進室/ 商工観光係
⑥	世界の人々との交流を深める機会を創出するなど、町民全体の国際理解の向上を図ります。						<b>C</b>	人口増推進室
K P I ①	町民団体が主催する国際交流推進事業数（事業）						人口増推進室	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	2	—	—	—	—	<b>3</b>	<b>67%</b>	
実績	2	2						
K P I ②	国際交流事業推進団体数						人口増推進室	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	1	—	—	—	—	<b>2</b>	<b>100%</b>	
実績	2	2						
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>飯綱町スイス交流協議会を通じ、スイスとの交流プロジェクトを推進。(有)ZAC（スイス）との包括連携協定に基づき、国際交流や多文化共生のまちづくりを推進するためのイベントの実施など。</li> <li>長野地域中枢連携都市圏事業で、日本語教室事業を実施（全72回、町からは2名参加）。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
<b>C</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際交流の推進については、民間を中心とした交流活動として推進を図っていく予定であり、多文化共生に関するシンポジウムや町民理解を促すイベント等の開催などを支援し、交流機運の状況等を見極めながら、友好都市提携等の検討を進めていく。</li> <li>多言語対応の取組やインバウンドの対応は遅れている。多文化共生社会を見据える中で、国際的主要言語に対応した環境整備・対応等について、周囲の動向など総合的に勘案しながら、引き続き検討していく。</li> <li>国際交流を推進していくための地域おこし協力隊等を任用し、交流機会や理解向上の場づくりなどを積極的に進めていく。また、町内には様々な国籍の外国人等が在住していることから、こうした外国人材を活用した交流の場づくり等を企画していく。</li> </ul>							

第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）評価・検証シート【令和4～8年度】


分野6	移住・交流		
基本方針	移住定住と多様な交流による地域活性化		
政策3	誰もがあらゆる分野でいきいきと活躍できる環境づくり		
関連するSDGs			
主な担当課・担当係	保健福祉課福祉係/企画課地域振興係・企画係/教育委員会生涯学習係		
課題と方針	<p>地域内外の交流や世代間の交流を深め、みんなで地域の未来を語り合える機会を確保し、地域づくりの実践的な取組を推進します。</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町や地域の課題の認識・課題解決の取組強化</li> <li>・地域内外、世代を超えた交流機会の確保</li> <li>・地域の将来プランや取組への住民の主体的な参加促進</li> </ul>		
行動目標	地域の行事や集まりに積極的に参加しよう！		
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)
	結婚相談所の利用による婚姻数（累計）<施策1>	3組	20組
	（仮称）いづな若者会議における提案事業実施数<施策1、2>	0件	2件
	集落の将来プラン（将来の姿）を作成した集落数<施策2>	15集落	50集落
	町民講座の開催数<施策2>	1回	2回
	ボランティア活動登録者数<施策2>	150人	250人
	一斉清掃への参加地区数・団体数<施策2>	50地区・0団体	50地区・25団体
	審議会・委員会等への女性委員の登用率<施策3>	21.8%	30%以上
	男女共同参画住民意識調査「男女平等となっている」の回答率<施策3>	42.1%	50.0%以上
	住民評価	共動によるまちづくりの推進満足度<施策2>	22.5%
	誰もが尊重される環境づくり満足度<施策3>	22.4%	↑
	男女が共にいきいきと暮らせる環境づくり満足度<施策3>	19.1%	↑
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等		
<b>B</b>	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メーラプラザ、いづなコネクト等を活用した交流機会の創出とそれに伴う施設の利用者増。</li> <li>・いづな若者会議の提案事業実施やまちづくり活動支援事業による、まちづくり活動の活性化。</li> <li>・様々な場面での女性登用の向上、まちづくり活動等での女性活躍の場の増加など。</li> </ul>		
A 順調 (目標以上に進捗)	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や世代を超えた多様な交流機会の更なる創出。</li> <li>・集落が主体的且つ効果的な取組を支援していくためのサポート体制の強化。</li> <li>・若者世代や女性が「まちづくり」に参加しやすい環境づくり（新しい考え方等への寛容性や多様性を尊重する機運の醸成）。</li> </ul>		
B 概ね順調 (目標の7～8割の進捗)	<p>&lt;方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いづなコネクトやメーラプラザ等の交流拠点を中心に、交流の場づくりが進み一定の成果が見られている。引き続き多世代の幅広い交流促進に向けて、新たな事業や仕組みづくりを進めていく。</li> </ul>		
C やや遅れている (目標の5～7割の進捗)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落創生事業は約7割の地区が未実施なことから、引き続き地域おこし協力隊等による支援を強化しながら事業推進を図っていく。</li> </ul>		
D 遅れている (目標の5割以下の進捗)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市部企業や人材との交流プログラム等を継続的に取り組むための体制強化を図っていく。</li> <li>・多様性を尊重し、寛容性を重視するまちづくりを目指し、新しい世代の考え方や多世代の意見を日常生活や町施策に積極的に取り入れていく機運の醸成と環境整備を進めていく。また、様々な場面で女性や若者世代等の登用比率を高めるための取組を推進していく。</li> </ul>		

施策1	多彩な交流の場の確保・創出						達成度評価	担当係等
①	多世代交流施設等の施設を活用し、多世代の交流や健康増進を促し、移住者同士や町民との交流を推進します。						B	地域振興係/人口増推進室
②	高齢期におけるフレイル予防やコミュニティづくりにつながる通いの場の創出支援を推進します。						B	福祉係
③	結婚に関する相談や結婚を望む独身男女の出会いの場の創出を支援します。						B	福祉係
K P I ①	結婚相談所の利用による婚姻数（累計）（組）						福祉係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	3	—	—	—	—	20	35%	
実績		2（総累計5）	4（総累計7）					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多世代交流拠点「メーラプラザ」の運営（指定管理者：社会福祉協議会）による交流の場の創出（R5利用者総数：12,430人）</li> <li>・学用品リユース拠点・コミュニティスペースZQを活用し、移住者交流や様々な町民交流を促進（R5利用者：延1,571人）</li> <li>・いきいきサロン、オレンジカフェ、お元氣くらぶ、すてきなおやじさんクラブ、フレイル予防講座等を実施し、高齢期のコミュニティづくりの支援・推進の促進。</li> <li>・結婚相談事業（相談者延数395名）、マッチングアプリの活用（登録者数22名）、お見合い（14件・成婚数2組）等により、出会いの場の創出支援を実施。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メーラプラザは、指定管理者の創意工夫により、交流の場として一定の成果が見られるが、若者から高齢者までの幅広い交流促進に向けては、新たな交流事業・交流の仕組みづくり等を更に進めていく必要がある。また、小中学校との連携等も含めて、行政のサポート体制の強化も必要である。</li> <li>・ZQについては、リユースや移住者交流の場等として活用されており、コミュニティースペースとして幅広く利用されているが、立地状況を勘案する中でより効果的な活用を図っていくために、利活用のあり方と方向性等について改めて検討していく。</li> <li>・高齢者等が「参加しやすい」、「参加したい」と感じる講座やメニューづくりなど、より多くの参加を得られるコミュニティの場や通いの場づくりを進めていく。</li> <li>・婚活支援については、各々の相談者のニーズに合わせて、引き続き多様な出会いの場づくりと結婚支援を図っていく。</li> </ul>							

施策2	共動によるまちづくりの推進						達成度評価	担当係等
①	地域集落の課題解決や活性化を図るため、集落の目指すべき姿の実現に向けた集落の自主的な取組を支援します。						A	地域振興係
②	まちづくりに関する講座（町民講座）を開催するなど、地域に貢献する活動に自主的に携わる人材の育成を図るとともに、そうした活動に取り組む団体や町民を						B	企画係
③	いいつな若者会議が立案した地域活性化につながるプロジェクトを支援します。						B	地域振興係
④	ボランティア活動を促進するため、いいつなポイントを付与するなど、共動によるまちづくりを進めます。						B	企画係/人口増進室
⑤	地方に興味を持つ都市部の企業や企業人が取り組むことのできる、地域課題の解決につながるようなプログラムを創出し、都市と地方の交流を推進します。						B	地域振興係/地域振興係
⑥	住民から町の取組に関する提案や意見を募集するなど、まちづくりに地域住民の意見を反映します。						C	企画係
K P I ①	いいつな若者会議における提案事業実施数（件）						地域振興係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	0	—	—	—	—	2	150%	
実績		3	3					
K P I ②	集落の将来プラン（将来の姿）を作成した集落数（集落）						地域振興係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	15	—	—	—	—	50	34%	
実績		16	17					
K P I ③	町民講座の開催数（回）						企画係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	1	—	—	—	—	2	50%	
実績		1	1					
K P I ④	ボランティア活動登録者数（人）						福祉係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	150	—	—	—	—	250	94%	
実績		155	235					
K P I ⑤	一斉清掃への参加地区数・団体数（地区・団体）						生活環境係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	地区：50 団体：0	—	—	—	—	地区：50 団体：25	地区：100% 団体：52%	
実績		地区：50 団体：13	地区：50 団体：13					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落創生事業交付金による、集落の自主的な取組に対する支援の実施。集落創生事業の取組を推進するため地域おこし協力隊員を任用し集落の取組支援の体制強化を促進。</li> <li>・町民講座、食の匠育成講座、食育推進体験講座等の開催、まちづくり活動支援事業（補助金交付）等により町づくり活動への支援と人材の育成を促進。</li> <li>・いいつな若者会議の設置。行政ポイント付与（全12メニュー）の実施。住民企画提案制度等の実施など。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落創生事業は未実施の地区が約7割となっている。事業実施地区では、地域おこし協力隊による伴走支援により効果的に事業展開が図れていることから、未実施地区も含めて、協力隊によるサポート体制を引き続き強化していく。</li> <li>・まちづくり活動支援事業は、自主的なまちづくりを支援する有効な事業として定着しているため、今後も各団体等が効果的にまちづくり活動を実践できるように、町として継続的にサポートしていく。</li> <li>・いいつな若者会議による提案事業の実施（R5実績：3件）は、地域の活性化や若者の意欲創出にもつながっていることから、提案内容等のブラッシュアップ支援と継続的な事業実施につなげていくための体制整備を進めていく。</li> <li>・いいつなポイントについては、デジタル時代に対応した新たな活用とサービスの在り方を検討していく。</li> <li>・地方での課題解決や地方との連携によるビジネス創出に関心のある都市部企業や人材は一定以上あることから、プログラムとして継続的に取り組んでいくための体制整備を進めていく。</li> <li>・住民企画提案事業は一定の意義があるが、効果的に機能するよう制度内容等を改善していく。</li> </ul>							

施策3	誰もが尊重される環境づくりの推進						達成度評価	担当係等
①	人権の尊重や男女共同参画社会の実現を推進するため、講演会、講座等の開催や広報等による啓発事業を行います。						<b>B</b>	生涯学習係
②	町の審議会・委員会等に女性委員を積極的に登用するなど、まちづくりの政策・方針決定の場への女性の参画を促進し、女性が住みたくなる町を目指します。						<b>B</b>	生涯学習係
K P I ①	審議会・委員会等への女性委員の登用率 (%)						生涯学習係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	21.8	—	—	—	—	<b>30%以上</b>	<b>83%</b>	
実績		28.1	25.0					
K P I ②	男女共同参画住民意識調査「男女平等となっている」の回答率						生涯学習係	
	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	達成率	
目標	42.1	—	—	—	—	<b>50%以上</b>	—	
実績		—	—				<b>(R7年度調査実施予定)</b>	
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育推進委員会と男女共同参画推進委員会との合同開催による人権フェスティバルの開催。</li> <li>・広報等を通じ、人権尊重と男女共同参画について定期的に啓発を実施。</li> <li>・男女共同参画推進委員会において、研修、情報提供を実施するとともに、各委員が母体組織に持ち帰り各組織ごとに男女共同参画の意識の醸成を推進。</li> <li>・行政関係組織だけでなく、地域の組織等についても、積極的に女性を登用するよう促すなど、様々な協議や意思決定等の場に、女性登用比率を高めるよう啓発の実施及び要件として定めるなどの働きかけを実施。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権・男女共同参画の推進には、若者や現役世代の参加を促す呼びかけを強化するとともに、新しい世代の考え方を日常生活や町の施策に積極的に取り入れていく機運の醸成と環境整備を進めていく。</li> <li>・今後も、様々な協議や意思決定等の場に、女性登用比率を高めるよう啓発を実施するとともに、女性の参画を制度・要件として定めていくなど、推進体制を一層強化していくことが必要である。</li> </ul> <p>また、女性自身自らが、あらゆる場に積極的に参加しやすい空気づくり等を行政側から強力に進めていくことで、意思決定等への女性参画と女性がより活躍できる環境づくりを推進していく。</p>							

第2次飯綱町総合計画（後期基本計画） 評価・検証シート 【令和4～8年度】

分野6	移住・交流			
基本方針	移住定住と多様な交流による地域活性化			
政策4	町の魅力を広げる情報発信の推進			
関連するSDGs				
主な担当課・担当係	企画課企画係/産業観光課商工観光係・農政係			
課題と方針	<p>より多くの人々が飯綱町を知って、訪れ、将来的には住んでもらえるよう、町の魅力を地域内外に広く発信します。</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町の魅力発信による認知度の向上</li> <li>・広報における部署間の連携強化、多様な広報媒体の活用</li> <li>・効果的な情報発信コンテンツの作成、プロモーションの強化</li> </ul>			
行動目標	地域の行事や集まりに積極的に参加しよう！			
K P I	指標	現状(R2)	目標(R8)	
	町ホームページアクセス件数<施策1>	212,126件	250,000件	
	Facebookフォロワー数<施策1>	729件	1,500件	
	SNS等の広報媒体数<施策1>	3種類	5種類	
	プレスリリース情報発信件数<施策1>	50件	60件	
	住民評価	町の魅力や情報の積極的な発信満足度<施策1>	22.6%	↑
		戦略的なブランド発信満足度<施策2>	30.6%	↑
		町の魅力（自然、特産品など）を積極的にPRしている	38.9%	↑
評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等			
A 順調 (目標以上に進捗)	B 概ね順調 (目標の7~8割の進捗)	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な媒体を活用した情報発信促進。PRTIMESサービスを活用したプレスリリースは、全国の幅広いメディアと企業に情報を周知でき、メディアでの取扱機会の増加と町の認知度向上に寄与。</li> <li>・ポータルアプリ「いなびいづな」によるアクセシビリティと情報入手の利便性の向上。</li> <li>・「りんご」に徹底的にこだわった情報発信により、「りんごの町」としての認知度が向上。</li> </ul>		
		<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真や動画を効果的に活用、発信するための質や技術の確保。</li> <li>・訴求力のある情報発信及びSNSの効果的な活用手法など。</li> <li>・関係部署間の連携強化、戦略的な情報の発信など。</li> </ul>		
C やや遅れている (目標の5~7割の進捗)	D 遅れている (目標の5割以下の進捗)	<p>&lt;方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレスリリースやラジオ放送などによる情報発信は、町の認知度向上にも寄与していることから、今後も状況に応じた多様な広報媒体を活用し、積極的な情報発信を図っていく。</li> <li>・写真や動画により効果的且つ訴求力の高い情報発信を行うため、地域おこし協力隊等の専門人材の活用、職員のスキルアップ等を図っていく。</li> <li>・ポータルアプリ「いなびいづな」のダウンロードを促進していく。</li> <li>・求められる情報ニーズを定期的に把握し、発信情報は常にわかりやすく見やすい環境づくりを進めていく。</li> </ul>		

施策1	積極的な情報発信の推進						達成度評価	担当係等
①	町広報紙のほか、公式ホームページやSNS、デジタルサイネージなど多様な広報媒体を用いて、町の事業やイベントなどの情報を広く発信します。						B	企画係
②	町の情報をホームページ・広報紙等に掲載する際に写真・動画等を積極的に活用するとともに、SNS等を活用して町に興味を持った方との双方向のコミュニケーションに努めます。						C	企画係
③	地域のボランティア活動などまちづくりへの主体的な参加の機会となる情報はより積極的に発信します。						C	企画係
④	イベント情報は一元化するなど、誰もが見つけやすく、わかりやすい情報発信に努めます。						B	企画係
⑤	プレスリリースを積極的に行い、継続的な情報発信で町の認知度を全国各地に広めます。						B	企画係
K P I ①	町ホームページアクセス件数（件）							
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	212,126	—	—	—	—	250,000	106%	
実績		260,043	264,632					
K P I ②	Facebookフォロワー数（件）							
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	729	—	—	—	—	1,500	53%	
実績		774	789					
K P I ③	SNS等の広報媒体数（種類）							
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	3	—	—	—	—	5	80%	
実績		4	4					
K P I ④	プレスリリース情報発信件数（件）							
	基準値	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成率	
目標	50	—	—	—	—	60	72%	
実績		49	43					
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>フェイスブック（投稿数37）、デジタルサイネージ配信、PRTIMESを活用したプレスリリース配信（発信数43、PV数62,823）、SBCラジオ「飯綱町りんごの里だより」（ラジオ放送12、スポットCM数23、ラジオカーレポート1回）、ウェブサイト「いいいいいづな」、「移住定住支援サイト」等により町の取組やイベント情報等を発信。</li> <li>ポータルアプリ「いなびいいづな」により、情報入手の利便性の向上やわかりやすい情報提供環境を整備。</li> </ul>							
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等							
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>プレスリリースやラジオ放送などは、町の取組や事業等の発信だけでなく、町の認知度向上にも寄与していることから、更に効果的に活用していくことで、町の知名度の向上を図っていく。また、若い世代に対しては、SNSによる発信が不可欠なことから、Instagramを始め多様な情報発信媒体の活用を進めていく。</li> <li>写真や動画を効果的に活用するためには、クオリティや発信技術等も求められることから、地域おこし協力隊等の人材活用、職員のスキルアップ等を図っていく必要がある。</li> <li>まちづくりに関する話題や情報については積極的に情報発信を行っているが、より効果的に情報を伝えていくための、情報の質や見せ方等に工夫と改善を図っていくことが必要。</li> <li>ポータルアプリ「いなびいいづな」は、とてもわかりやすく利便性の高いアプリであることから、アプリのダウンロードを引き続き促進していく。</li> <li>PRTIMESのサービスを活用したプレスリリースは、全国の様々な媒体に対し効果的に町の取組を発信することかでき、各メディアに町の話目を多く取り上げられることにつながっている。町の認知度を更に高めるためにも、多くの情報や話題を同サービスを活用して引き続き発信していく。</li> </ul>							

施策2	戦略的なブランド発信の推進	達成度評価	担当係等
①	アップルミュージアムの多様な施設機能を活かして、りんごを核にした町の魅力を積極的に発信します。	<b>B</b>	商工観光係/企画係
②	花や緑を活かしたイベント開催などを通じて、町の美しい景観や豊かな自然の魅力を積極的に発信します。	<b>B</b>	商工観光係/企画係
K P I	対応するKPIは住民評価指標のため、次期総合計画策定時に検証・評価		
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アップルミュージアムの機能を活用し、恒常的にりんごに関する様々な情報発信活動を実施。</li> <li>・いづなまち花まつりの開催により、町内外に町の自然の美しさ、豊かさを発信。</li> <li>・地域おこし協力隊を活用し、SNSによる町のPRと情報発信を強化。特に「りんご」や「自然環境」の魅力にこだわった積極的な発信に注力。</li> </ul>		
達成度評価	達成状況に係る成果と課題、今後の方向性等		
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アップルミュージアムの施設機能を更に強化するとともに、運営協力員や町民による情報発信の仕掛けや仕組み等を構築し、より効果的な情報発信を図っていく必要がある。</li> <li>・町の景観や自然の魅力を象徴する「花まつり」は広く認知されており、町の自然の魅力を効果的に発信する機会となっている。「花まつり」期間中のイベント実施や内容等を随時改善しながら、更に効果的に自然の魅力を発信していく。</li> <li>・花まつりやりんごの情報は鮮度が重要になるため、リアルタイムで生きた情報を発信できるよう、SNS等による動画等の活用を増やしていく。</li> <li>・引き続き、りんごと自然環境の魅力を中心とした情報発信を進めていくため、関係部署間との連携を強化し、訴求力の高い情報をより効果的・戦略的に発信していく体制を整備していく。</li> </ul>		